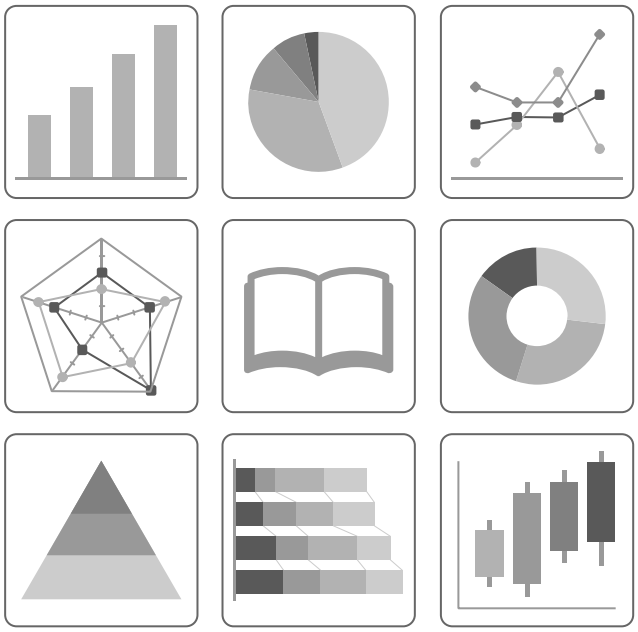
令和３年度
区民アンケート調査（子育て世帯）
調査結果報告書



令和４年１月

東　住　吉　区

目　次

Ⅰ　調査の概要 1

1　調査の目的 1
2　調査対象 1
3　調査期間 1
4　調査方法 1
5　回収状況 1
6　調査結果の表示方法 1

Ⅱ　調査結果 2

1　回答者属性 2
2　東住吉区の住みやすさ・魅力について 8
3　子育て情報の広報について 16
4　「子ども食堂」などの子どもの居場所について 23
5　親子サロンについて 32
6　学校教育活動支援について 39
7　子育てについて 44

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

東住吉区役所では、「東住吉区将来ビジョン（2021～2025)」で定めた、めざす将来像『子どもが輝き、みんながしあわせなまち』の実現に向け、広く区民の方の意見を聞き、今後の施策の進め方の参考資料として、調査を実施するものです。

２　調査対象

無作為抽出した東住吉区在住の令和３年４月１日現在中学生以下の子ども 1,500 人の保護者

３　調査期間

令和３年 12 月 8 日から令和３年 12 月 21 日

４　調査方法

調査票の送付による配布と返信封筒による回収及び WEB による回答

５　回収状況

	配　布　数	有効回答数	有効回答率
中学生以下の子どもの保護者	1,500 通	596 通	39.7%

６　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。

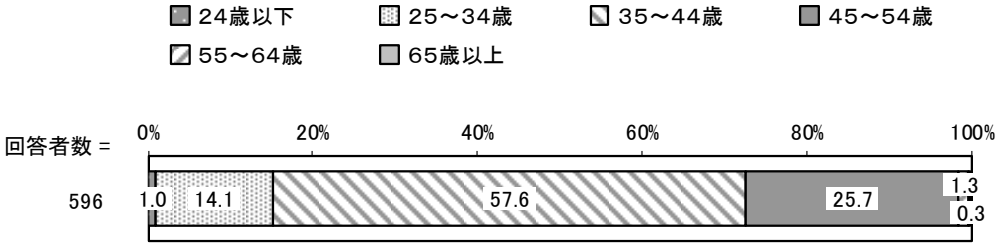
Ⅱ　調査結果

１　回答者属性

問１　あなたのご年齢を教えてください。

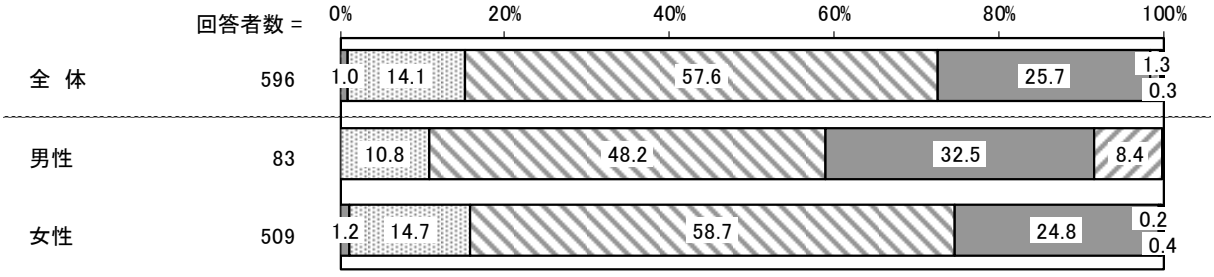
「35～44 歳」の割合が 57.6%と最も高く、次いで「45～54 歳」の割合が 25.7%、「25～34 歳」の割合が 14.1%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	596	100%	83	100%	509	100%
24 歳以下	6	1%	－	－%	6	1.2%
25～34 歳	84	14.1%	9	10.8%	75	14.7%
35～44 歳	343	57.6%	40	48.2%	299	58.7%
45～54 歳	153	25.7%	27	32.5%	126	24.8%
55～64 歳	8	1.3%	7	8.4%	1	0.2%
65 歳以上	2	0.3%	－	－%	2	0.4%



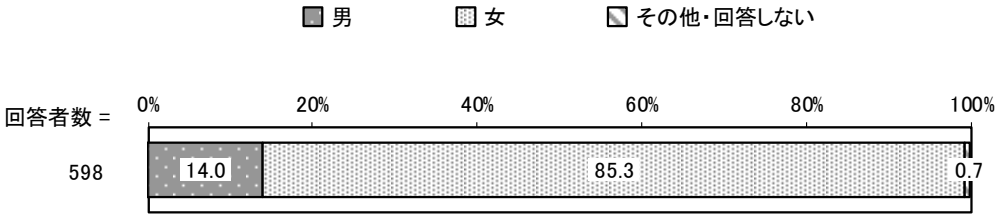
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「35～44 歳」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「45～54 歳」の割合が高くなっています。



問２　あなたの性別を教えてください。

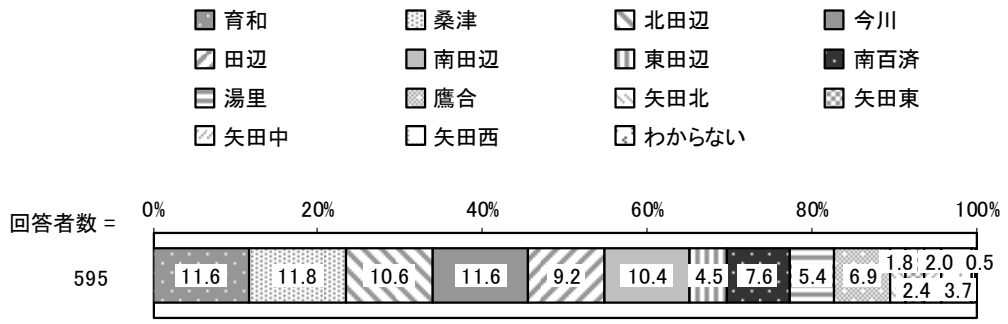
「女」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「男」の割合が 14.0%となっています。



問３　あなたの住んでいる地域（小学校下）を教えてください。

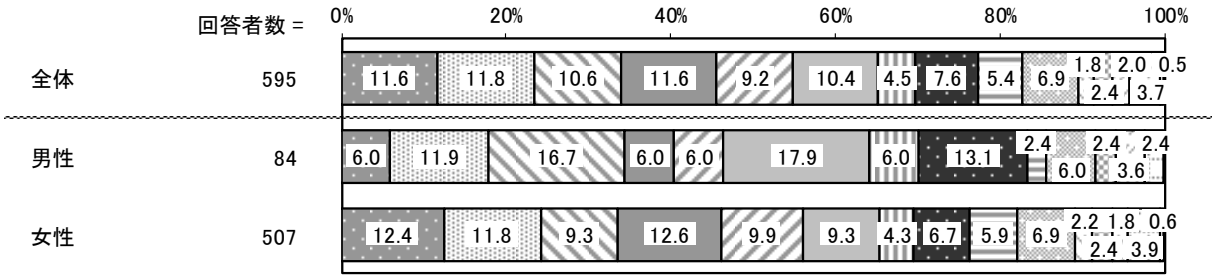
「桑津」の割合が 11.8%と最も高く、次いで「育和」、「今川」の割合が 11.6%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	595	100%	84	100%	507	100%
育和	69	11.6%	5	6%	63	12.4%
桑津	70	11.8%	10	11.9%	60	11.8%
北田辺	63	10.6%	14	16.7%	47	9.3%
今川	69	11.6%	5	6%	64	12.6%
田辺	55	9.2%	5	6%	50	9.9%
南田辺	62	10.4%	15	17.9%	47	9.3%
東田辺	27	4.5%	5	6%	22	4.3%
南百済	45	7.6%	11	13.1%	34	6.7%
湯里	32	5.4%	2	2.4%	30	5.9%
鷹合	41	6.9%	5	6%	35	6.9%
矢田北	11	1.8%	−	−%	11	2.2%
矢田東	14	2.4%	2	2.4%	12	2.4%
矢田中	12	2%	3	3.6%	9	1.8%
矢田西	22	3.7%	2	2.4%	20	3.9%
わからない	3	0.5%	−	−%	3	0.6%



【性別】

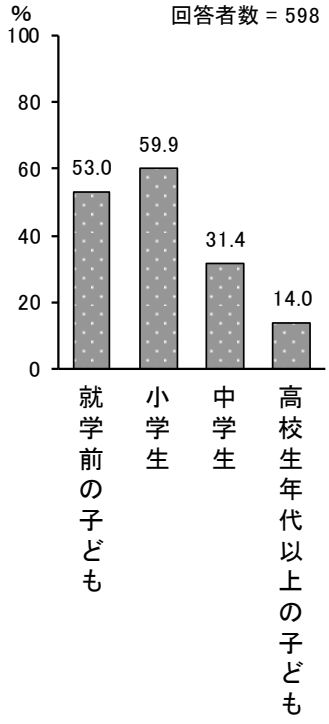
性別でみると、男性に比べ、女性で「育和」「今川」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「北田辺」「南田辺」「南百済」の割合が高くなっています。



問４　あなたの世帯のお子さまについて該当する番号をすべて選んでください。

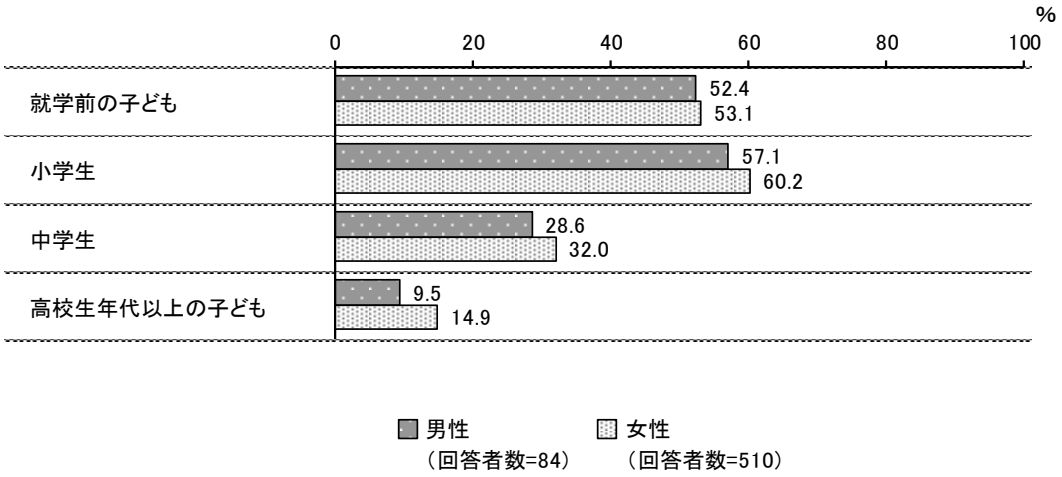
「小学生」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「就学前の子ども」の割合が 53.0%、「中学生」の割合が 31.4%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	598	100%	84	100%	510	100%
就学前の子ども	317	53%	44	52.4%	271	53.1%
小学生	358	59.9%	48	57.1%	307	60.2%
中学生	188	31.4%	24	28.6%	163	32%
高校生年代以上の子ども	84	14%	8	9.5%	76	14.9%



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「中学生」「高校生年代以上の子ども」の割合が高くなっています。



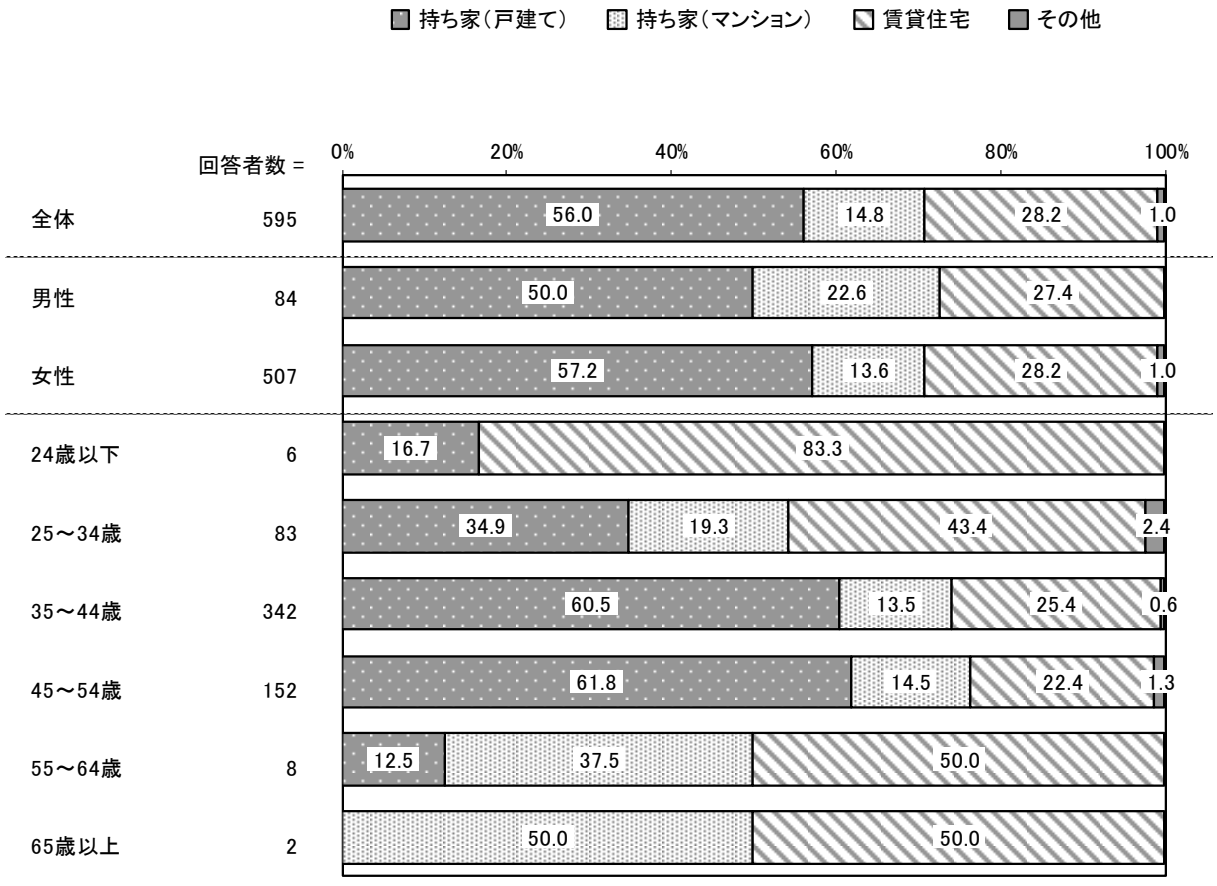
問５　今のお住まいの住宅の種類を教えてください。

「持ち家（戸建て）」の割合が 56.0％と最も高く、次いで「賃貸住宅」の割合が 28.2％、「持ち家（マンション）」の割合が 14.8％となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「持ち家（戸建て）」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「持ち家（マンション）の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳、45～54 歳で「持ち家（戸建て）」の割合が、25～34 歳で「賃貸住宅」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	595	100%	84	100%	507	100%
持ち家(戸建て)	333	56%	42	50%	290	57.2%
持ち家(マンション)	88	14.8%	19	22.6%	69	13.6%
賃貸住宅	168	28.2%	23	27.4%	143	28.2%
その他	6	1%	－	－%	5	1%

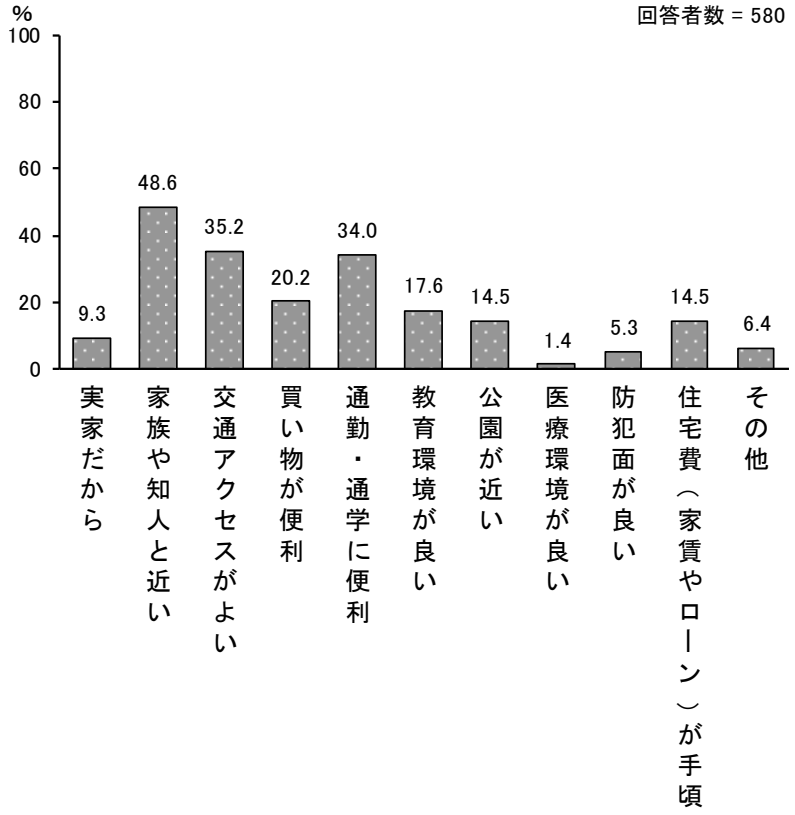


２　東住吉区の住みやすさ・魅力について

問６　今のお住まいに住むことを決められた理由を教えてください。（○は３つまで）

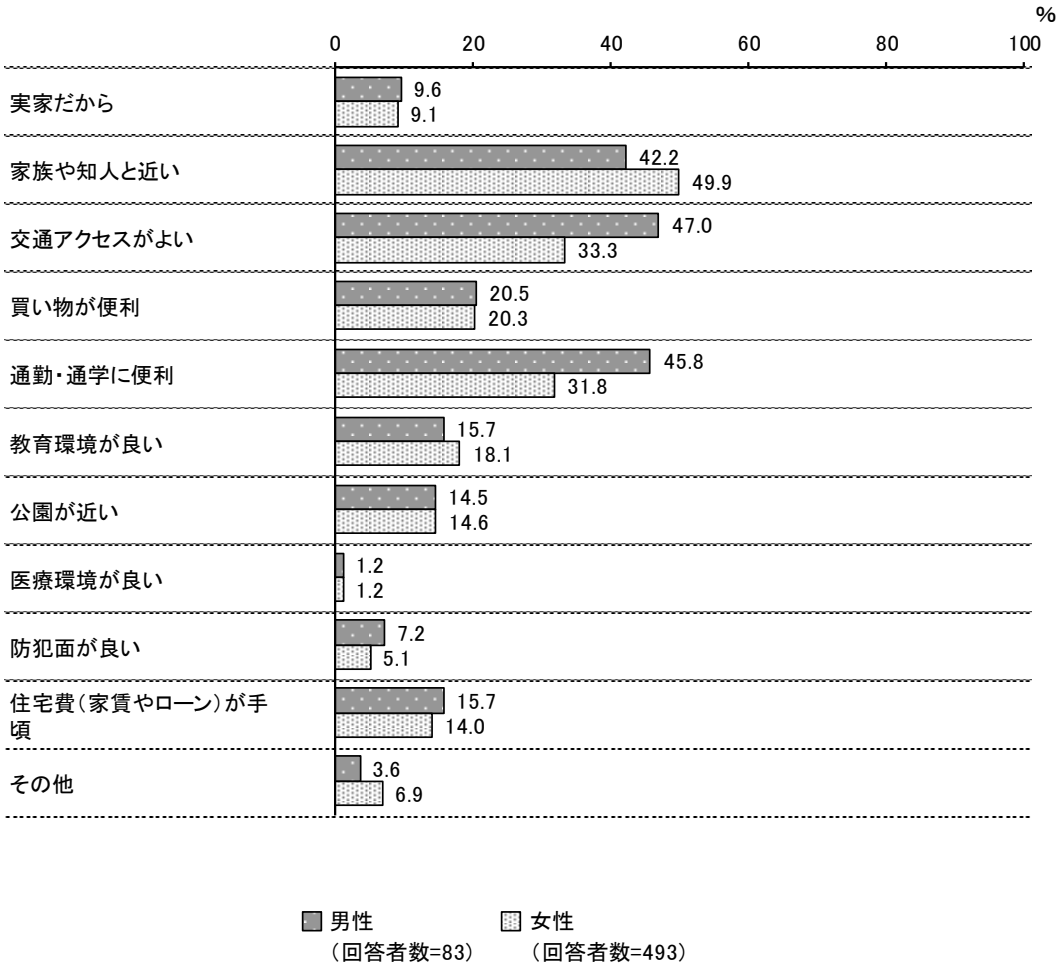
「家族や知人と近い」の割合が 48.6%と最も高く、次いで「交通アクセスがよい」の割合が 35.2%、「通勤・通学に便利」の割合が 34.0%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	580	100%	83	100%	493	100%
実家だから	54	9.3%	8	9.6%	45	9.1%
家族や知人と近い	282	48.6%	35	42.2%	246	49.9%
交通アクセスがよい	204	35.2%	39	47%	164	33.3%
買い物が便利	117	20.2%	17	20.5%	100	20.3%
通勤･通学に便利	197	34%	38	45.8%	157	31.8%
教育環境が良い	102	17.6%	13	15.7%	89	18.1%
公園が近い	84	14.5%	12	14.5%	72	14.6%
医療環境が良い	8	1.4%	1	1.2%	6	1.2%
防犯面が良い	31	5.3%	6	7.2%	25	5.1%
住宅費(家賃やローン)が手頃	84	14.5%	13	15.7%	69	14%
その他	37	6.4%	3	3.6%	34	6.9%



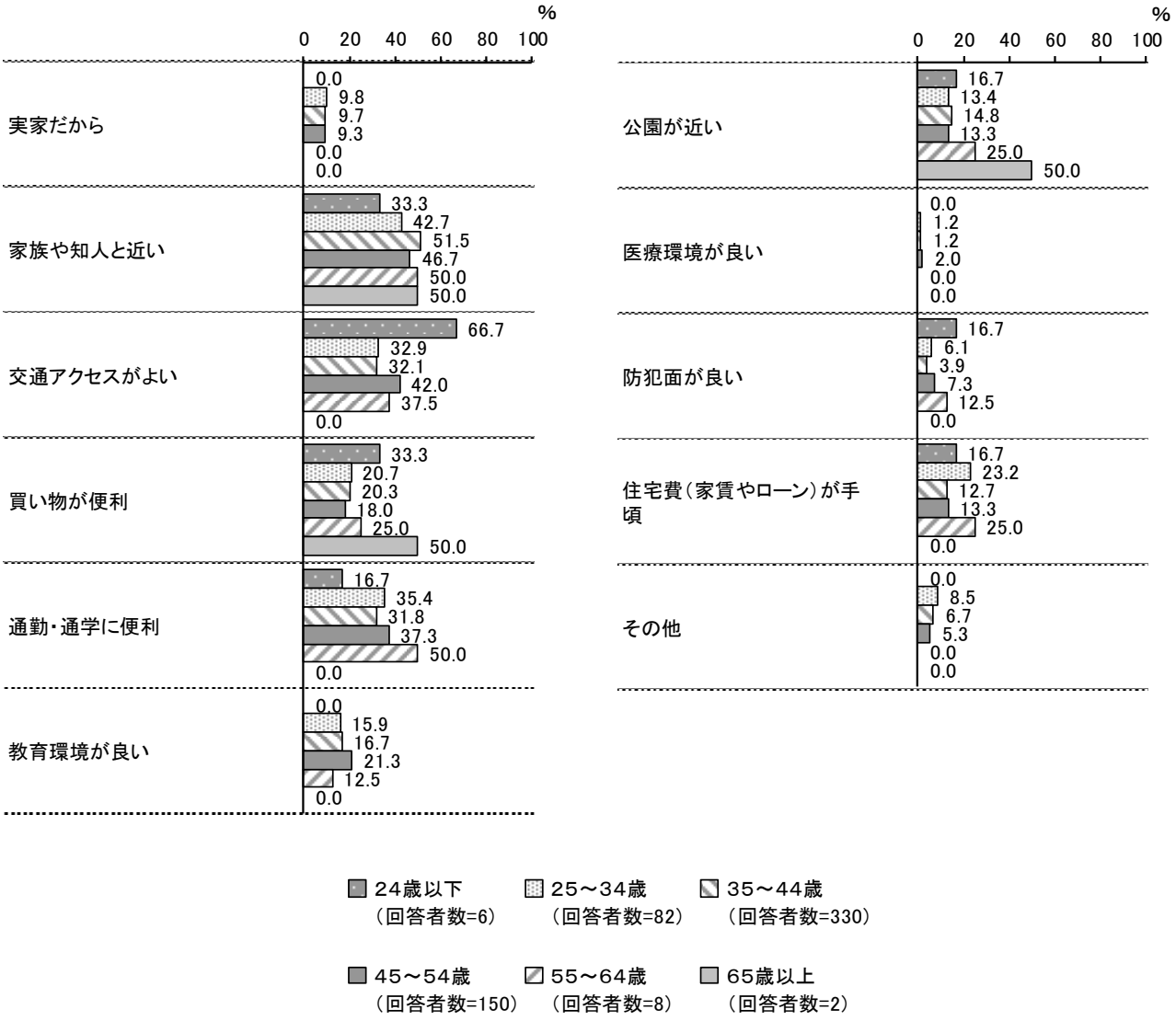
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族や知人と近い」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「交通アクセスがよい」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で「家族や知人と近い」の割合が、45～54 歳で「交通アクセスがよい」「通勤・通学に便利」「教育環境が良い」の割合が高くなっています。また、他に比べ、25～34 歳で「住宅費（家賃やローン）が手頃」の割合が高くなっています。



【問６の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・街の人が良い雰囲気。 ・校区が変わらない範囲で決めた。

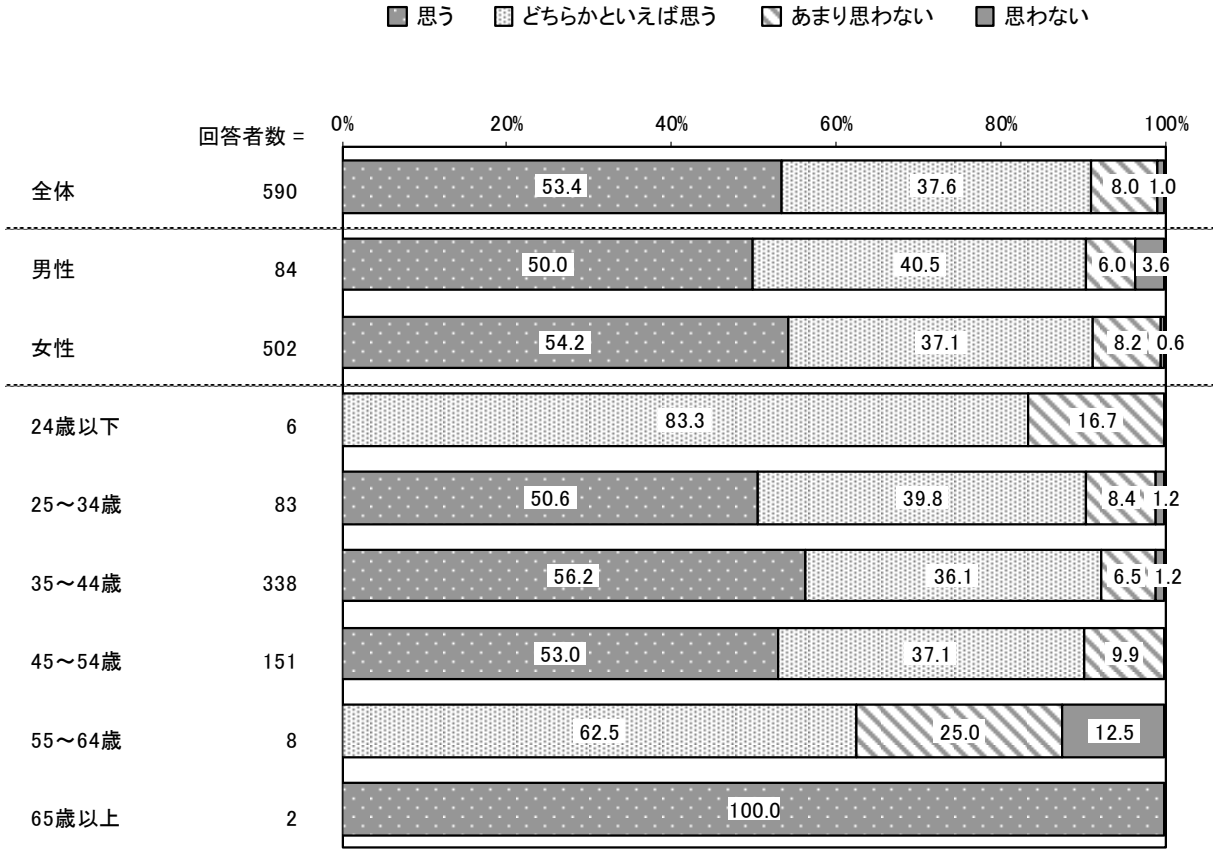
問７　あなたは、これからも東住吉区に住みたい、住み続けたいと思いますか。（１つだけ）

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が 91.0%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 9.0%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、大きな差異はみられませんでした。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	590	100%	84	100%	502	100%
思う	315	53.4%	42	50%	272	54.2%
どちらかといえば思う	222	37.6%	34	40.5%	186	37.1%
あまり思わない	47	8%	5	6%	41	8.2%
思わない	6	1%	3	3.6%	3	0.6%

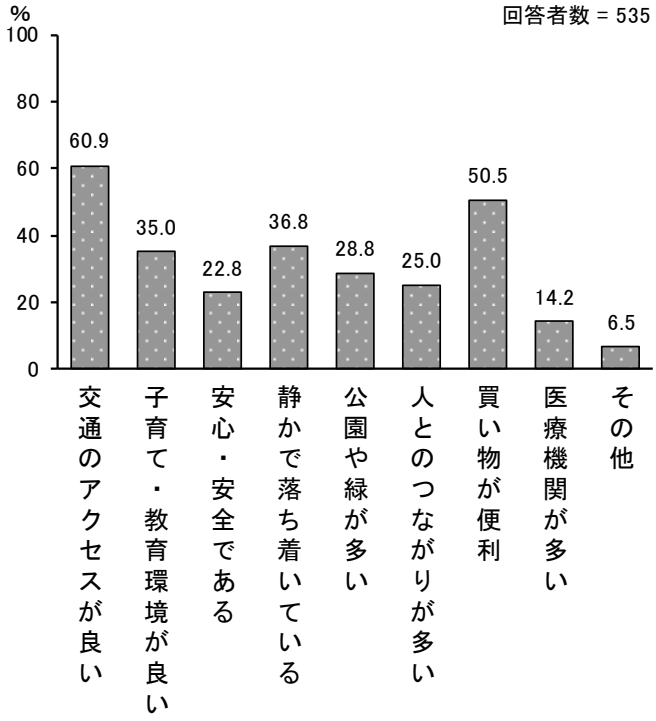


問７で「１　思う」、「２　どちらかといえば思う」を選ばれた方にお聞きします。

問８　あなたが、問７の選択肢を選ばれた理由を教えてください。（○はいくつでも）

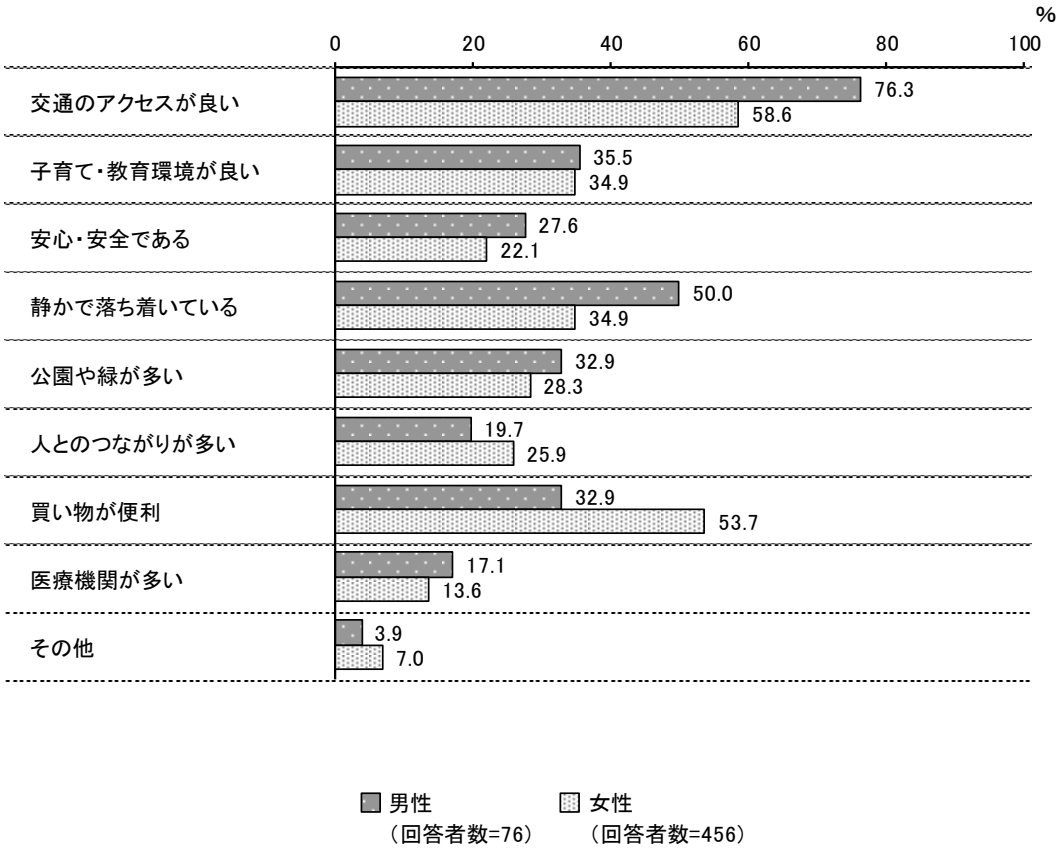
「交通のアクセスが良い」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「買い物が便利」の割合が 50.5%、「静かで落ち着いている」の割合が 36.8%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	535	100%	76	100%	456	100%
交通のアクセスが良い	326	60.9%	58	76.3%	267	58.6%
子育て・教育環境が良い	187	35%	27	35.5%	159	34.9%
安心・安全である	122	22.8%	21	27.6%	101	22.1%
静かで落ち着いている	197	36.8%	38	50%	159	34.9%
公園や緑が多い	154	28.8%	25	32.9%	129	28.3%
人とのつながりが多い	134	25%	15	19.7%	118	25.9%
買い物が便利	270	50.5%	25	32.9%	245	53.7%
医療機関が多い	76	14.2%	13	17.1%	62	13.6%
その他	35	6.5%	3	3.9%	32	7%



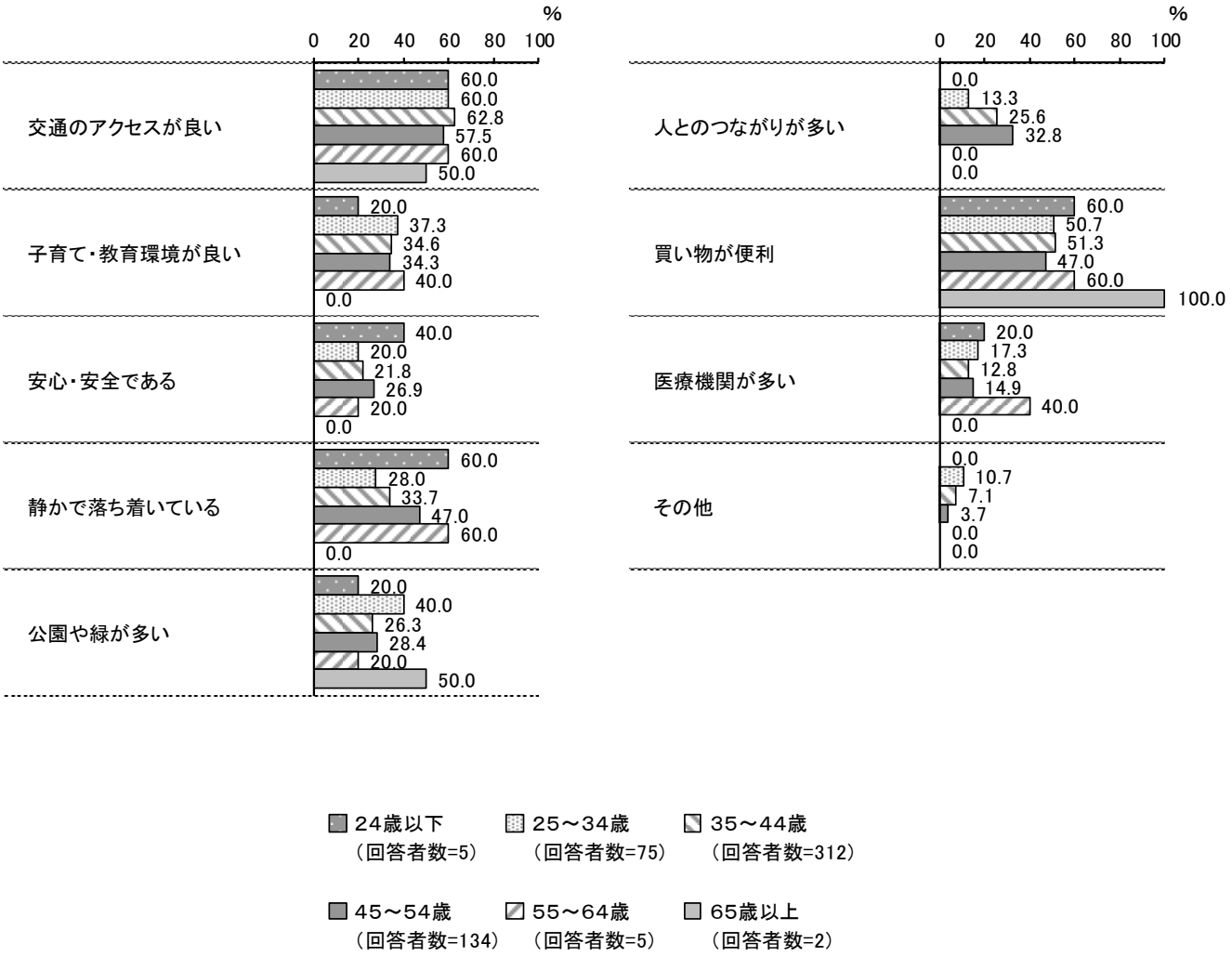
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「交通のアクセスが良い」「静かで落ち着いている」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「買い物が便利」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「静かで落ち着いている」「人とのつながりが多い」の割合が、25～34 歳で「公園や緑が多い」の割合が高くなっています。



【問８の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

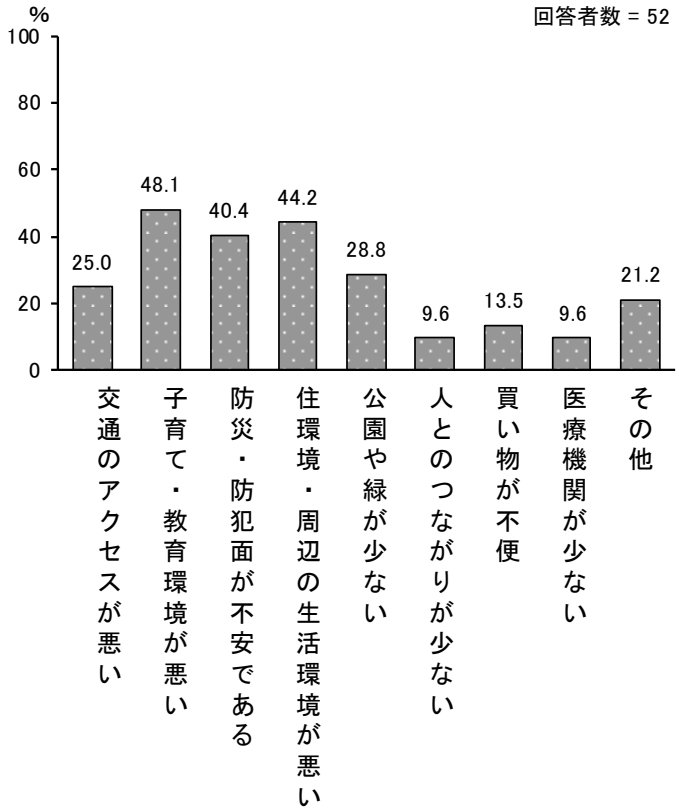
内容
・子供の頃から住んでいる地域で慣れているから。 ・家を買った。 ・職員の対応が他の自治体と比べてすごくいい。

問７で「３　あまり思わない」、「４　思わない」を選ばれた方にお聞きします。

問９　あなたが、問７の選択肢を選ばれた理由を教えてください。（○はいくつでも）

「子育て・教育環境が悪い」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「住環境・周辺の生活環境が悪い」の割合が 44.2%、「防災・防犯面が不安である」の割合が 40.4%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	52	100%	8	100%	43	100%
交通のアクセスが悪い	13	25%	2	25%	11	25.6%
子育て･教育環境が悪い	25	48.1%	5	62.5%	20	46.5%
防災･防犯面が不安である	21	40.4%	3	37.5%	18	41.9%
住環境･周辺の生活環境が悪い	23	44.2%	5	62.5%	17	39.5%
公園や緑が少ない	15	28.8%	1	12.5%	14	32.6%
人とのつながりが少ない	5	9.6%	1	12.5%	4	9.3%
買い物が不便	7	13.5%	－	－%	7	16.3%
医療機関が少ない	5	9.6%	－	－%	5	11.6%
その他	11	21.2%	1	12.5%	10	23.3%



【問９の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・田舎で静かに暮らしたい。 ・購入するには住宅（土地）が高いので。 ・他のところに住んでみたい。

３　子育て情報の広報について

区役所では、子育て層の皆様が安心して子育てができるように、充実した区政情報を提供できるよう取り組んでいます。

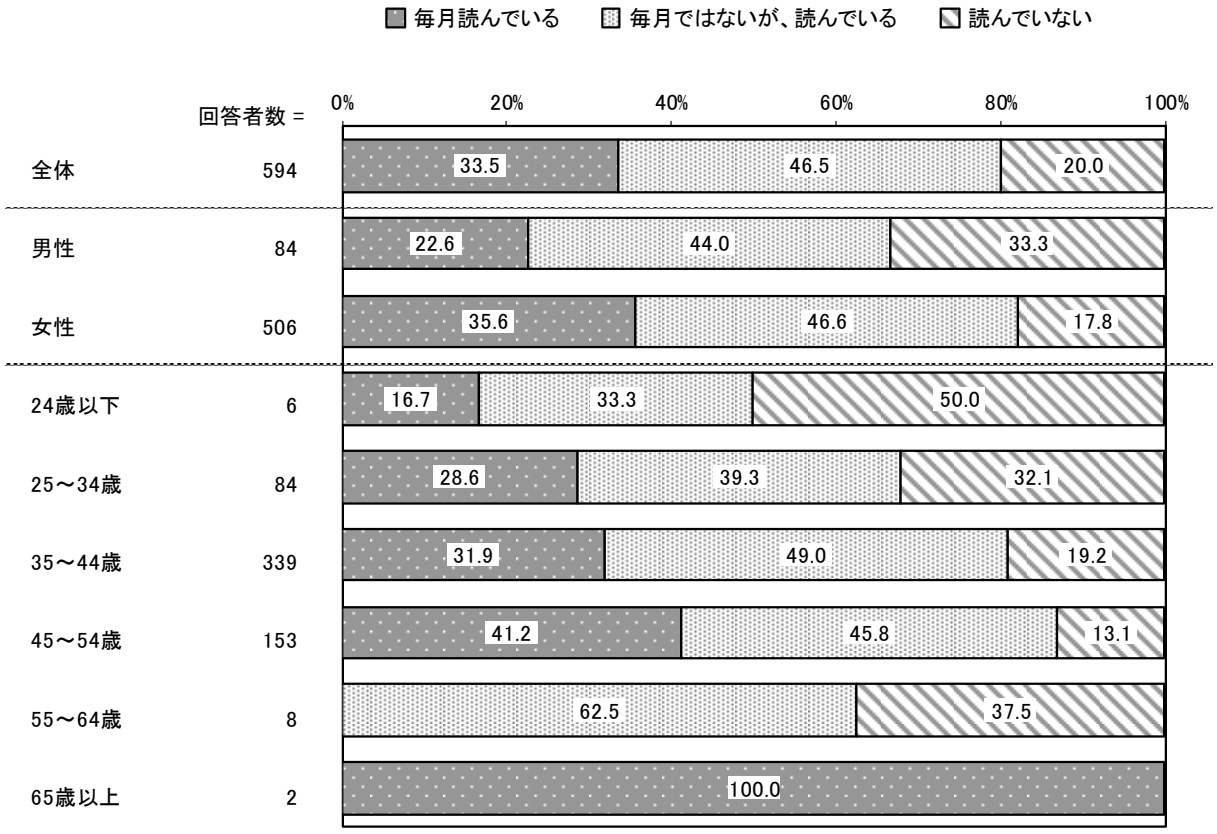
問 10　東住吉区役所では、毎月発行の区広報紙「広報東住吉なでしこ」を、令和２年５月号から区内全世帯・全事業所に配布しています。あなたは、「広報東住吉なでしこ」を読んでいますか。（１つだけ）

「毎月ではないが、読んでいる」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「毎月読んでいる」の割合が 33.5%、「読んでいない」の割合が 20.0%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「毎月読んでいる」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「読んでいない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「毎月読んでいる」の割合が、25～34 歳で「読んでいない」の割合が高くなっています。

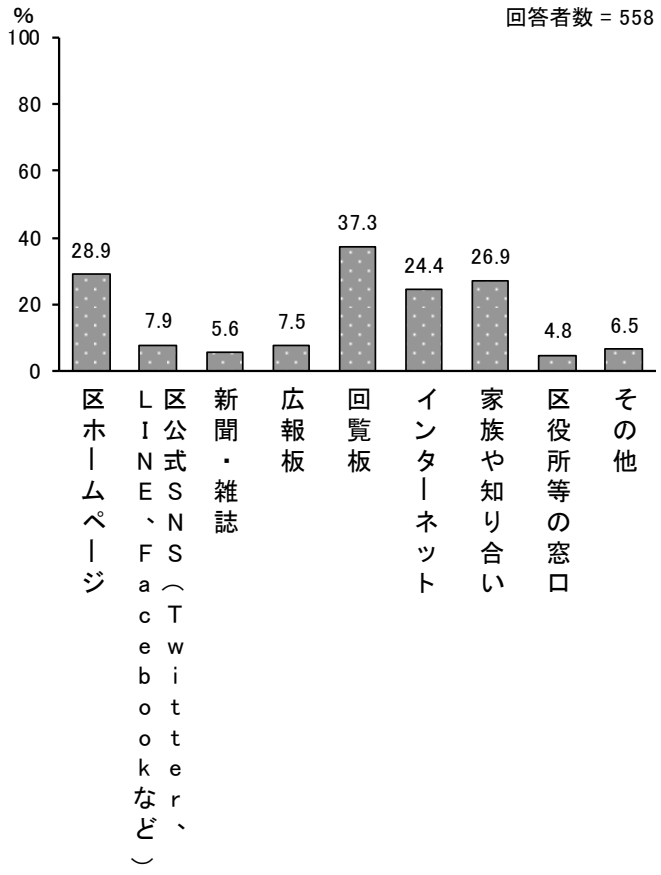
項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	594	100%	84	100%	506	100%
毎月読んでいる	199	33.5%	19	22.6%	180	35.6%
毎月ではないが、読んでいる	276	46.5%	37	44%	236	46.6%
読んでいない	119	20%	28	33.3%	90	17.8%



問 11　あなたは、区広報紙「広報東住吉なでしこ」以外で、どこから区政情報を得ていますか。（○はいくつでも）

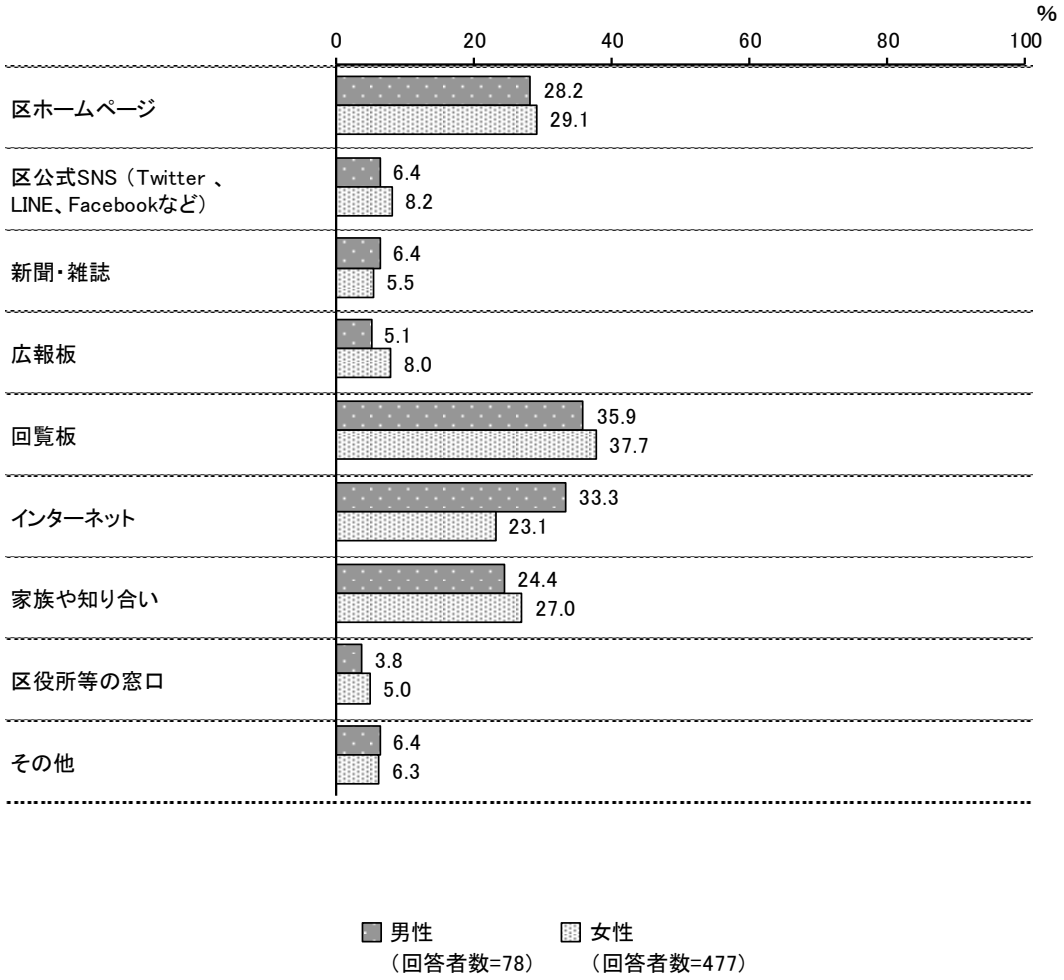
「回覧板」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「区ホームページ」の割合が 28.9%、「家族や知り合い」の割合が 26.9%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	558	100%	78	100%	477	100%
区ホームページ	161	28.9%	22	28.2%	139	29.1%
区公式 SNS（Twitter 、LINE、Facebook など）	44	7.9%	5	6.4%	39	8.2%
新聞・雑誌	31	5.6%	5	6.4%	26	5.5%
広報板	42	7.5%	4	5.1%	38	8%
回覧板	208	37.3%	28	35.9%	180	37.7%
インターネット	136	24.4%	26	33.3%	110	23.1%
家族や知り合い	150	26.9%	19	24.4%	129	27%
区役所等の窓口	27	4.8%	3	3.8%	24	5%
その他	36	6.5%	5	6.4%	30	6.3%



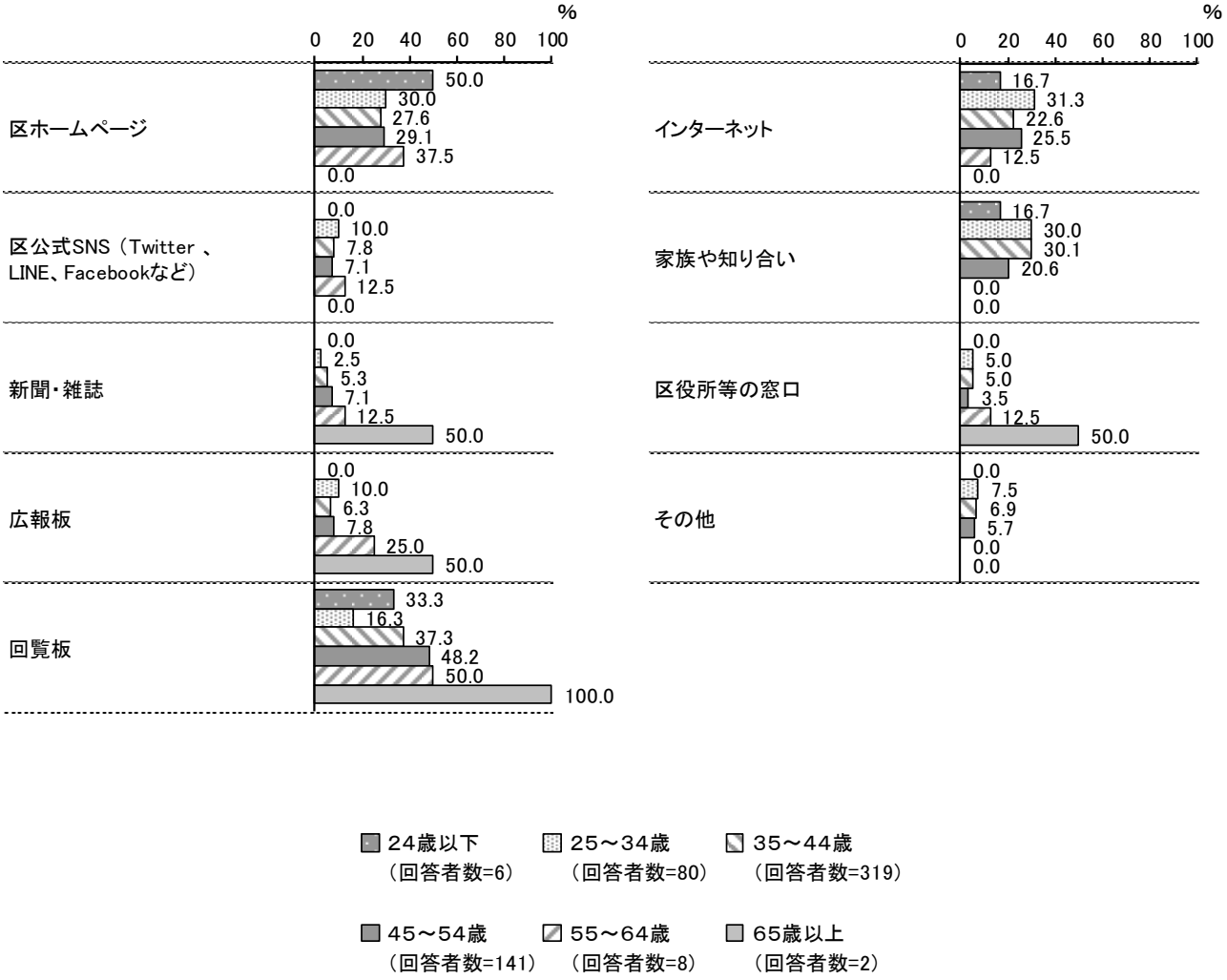
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「インターネット」の割合が高くなっています。



【性別】

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「回覧板」の割合が、25～34 歳で「インターネット」「家族や知り合い」の割合が高くなっています。また、他に比べ、35～44 歳で「家族や知り合い」の割合が高くなっています。



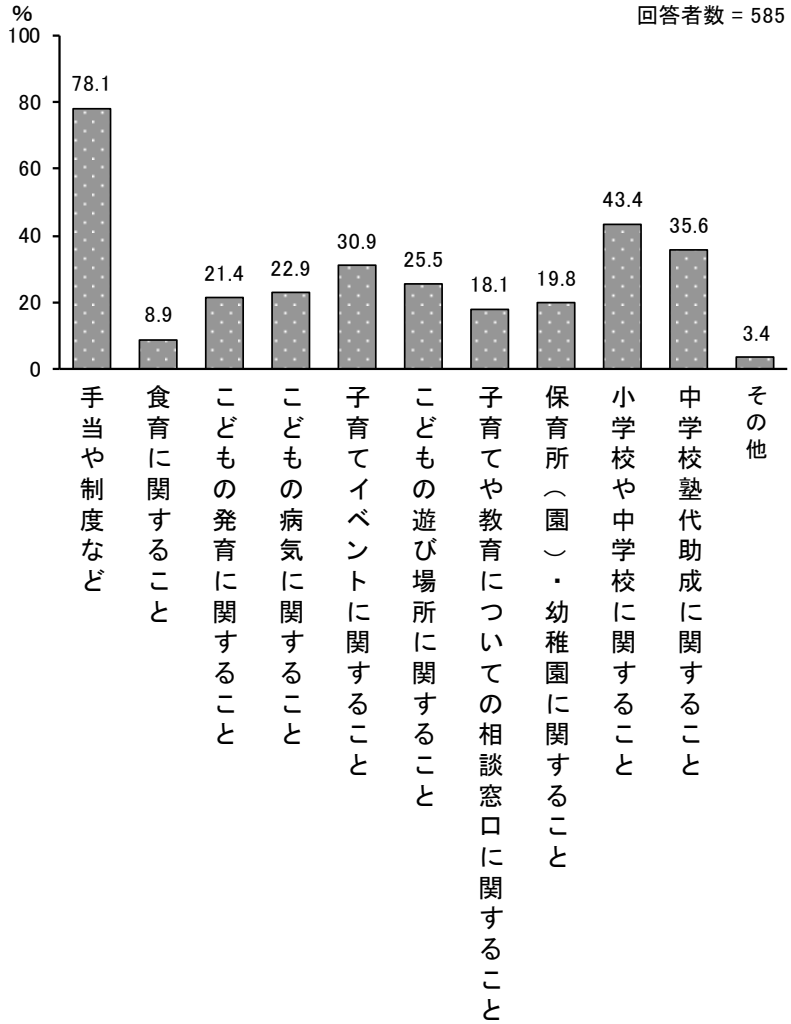
【問 11 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・図書館においてあるチラシ。 ・保育園の貼り紙。

問 12　東住吉区役所では、区広報紙「広報東住吉なでしこ」や SNS（Twitter、LINE、Facebook など）を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。
（〇はいくつでも）

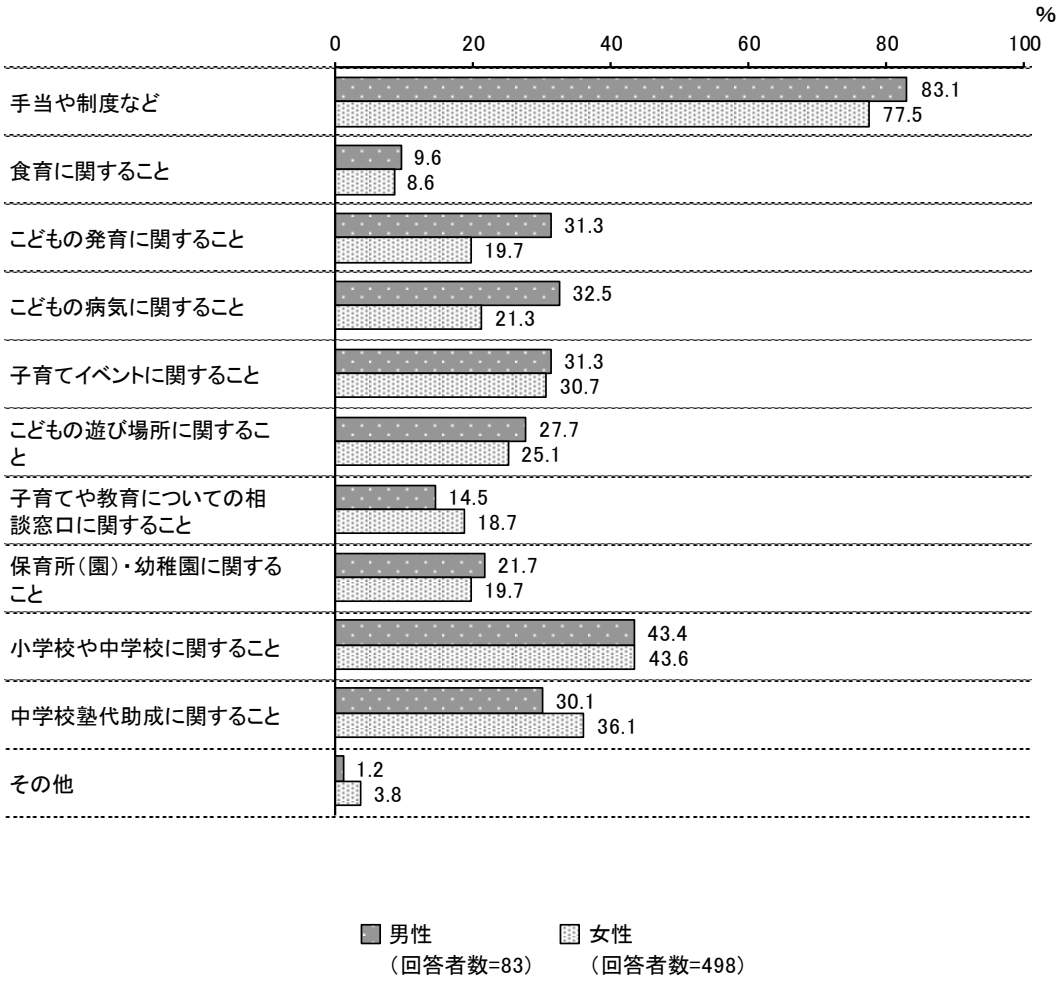
「手当や制度など」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「小学校や中学校に関すること」の割合が 43.4%、「中学校塾代助成に関すること」の割合が 35.6%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	585	100%	83	100%	498	100%
手当や制度など	457	78.1%	69	83.1%	386	77.5%
食育に関すること	52	8.9%	8	9.6%	43	8.6%
こどもの発育に関すること	125	21.4%	26	31.3%	98	19.7%
こどもの病気に関すること	134	22.9%	27	32.5%	106	21.3%
子育てイベントに関すること	181	30.9%	26	31.3%	153	30.7%
こどもの遊び場所に関すること	149	25.5%	23	27.7%	125	25.1%
子育てや教育についての相談窓口に関すること	106	18.1%	12	14.5%	93	18.7%
保育所(園)・幼稚園に関すること	116	19.8%	18	21.7%	98	19.7%
小学校や中学校に関すること	254	43.4%	36	43.4%	217	43.6%
中学校塾代助成に関すること	208	35.6%	25	30.1%	180	36.1%
その他	20	3.4%	1	1.2%	19	3.8%



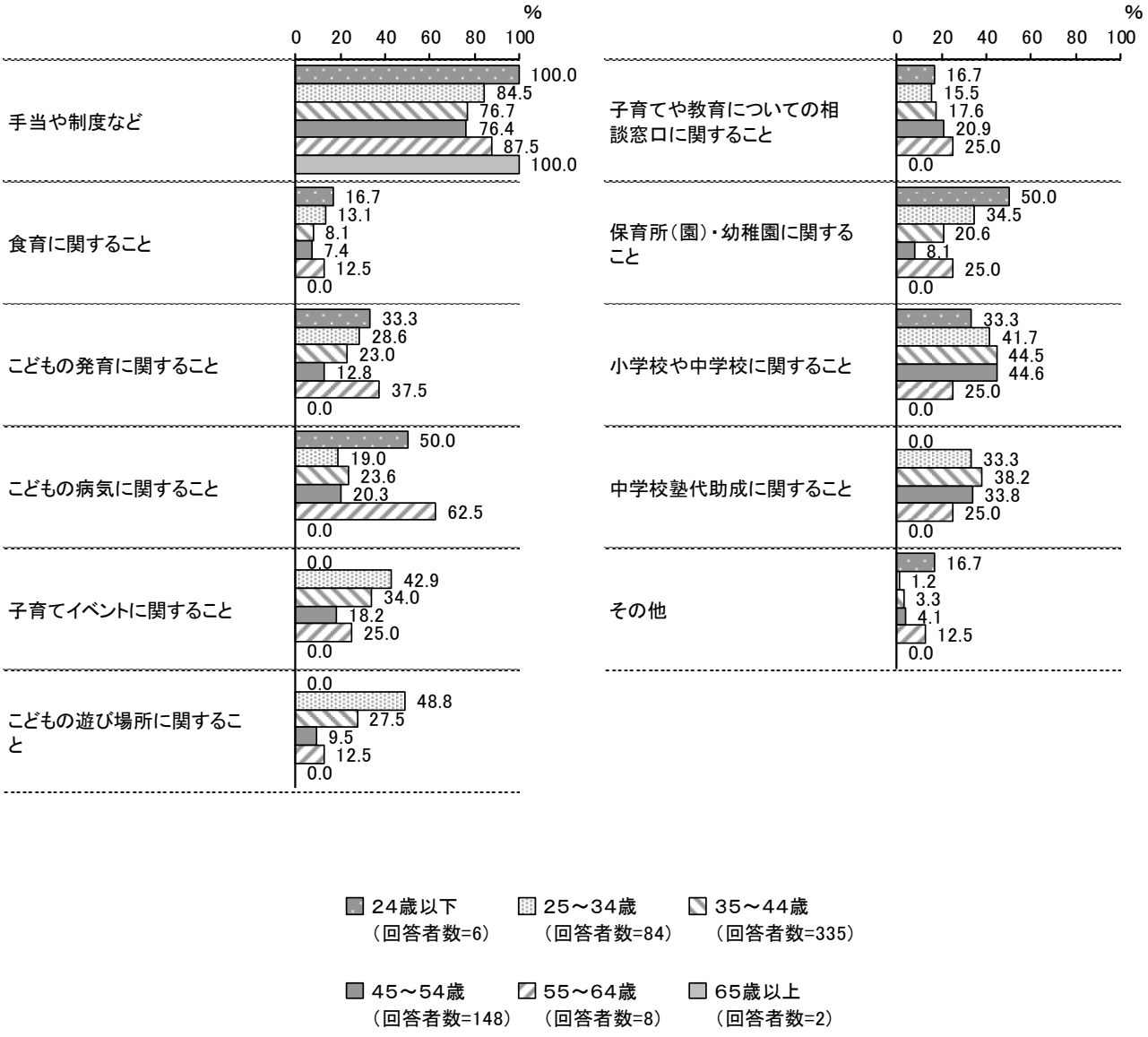
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「手当や制度など」「こどもの発育に関すること」「こどもの病気に関すること」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「中学校塾代助成に関すること」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「手当や制度など」「こどもの発育に関すること」「子育てイベントに関すること」「こどもの遊び場所に関すること」「保育所（園）・幼稚園に関すること」の割合が、35～44 歳で「こどもの病気に関すること」「中学校塾代助成に関すること」の割合が高くなっています。



【問 12 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・中学、高校の説明会の案内。 ・就労について。 ・一人親の支援。 ・障害のことや、親とふれあう場所。

４　「子ども食堂」などの子どもの居場所について

東住吉区は「子どもが輝き、みんなが幸せなまち」の実現に向け、平成 30 年度から「子どもの居場所ネットワーク事業」を実施し、子どもの居場所の取組を応援しています。
そこで、次の問にお答えください。

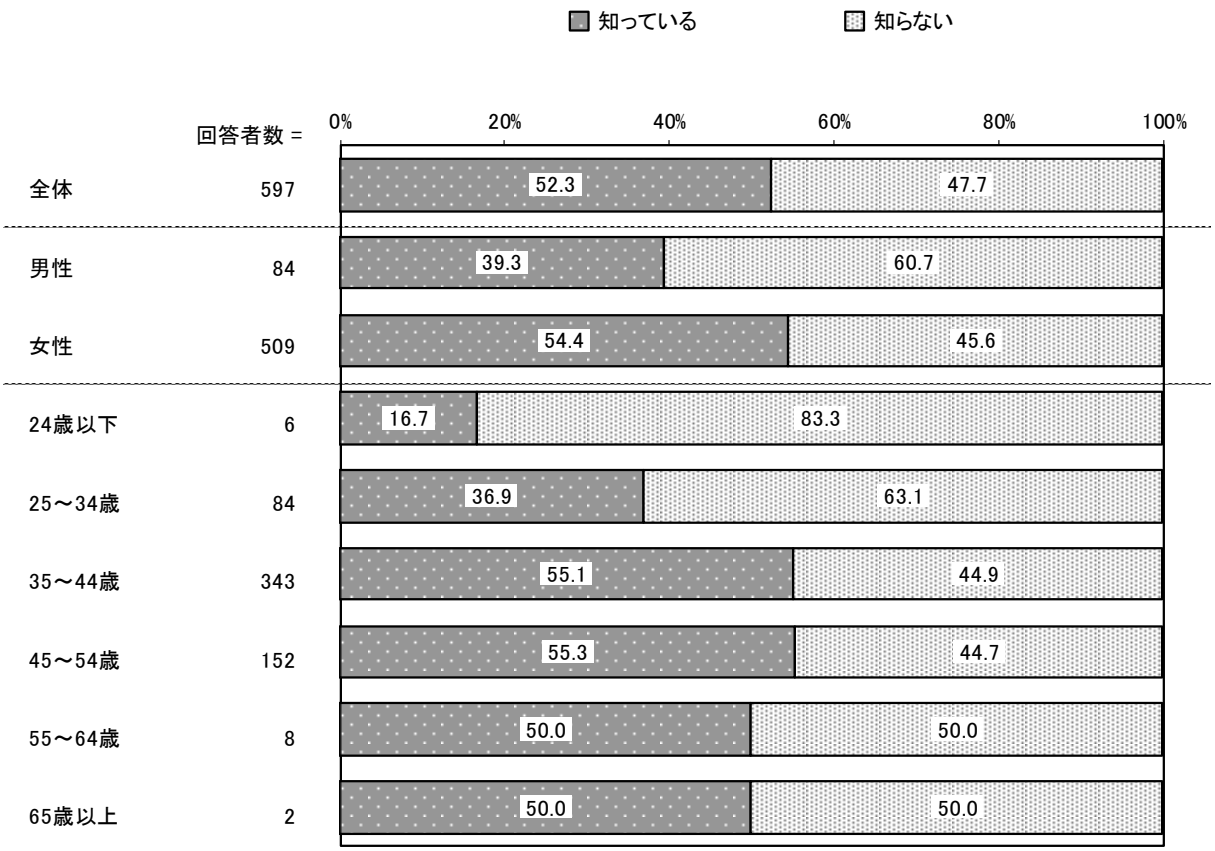
問 13　あなたは、「 子ども食堂」などの子どもの居場所の取組が、東住吉区内にもあることはご存じですか。（１つだけ）

「知っている」の割合が 52.3%、「知らない」の割合が 47.7%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、35～44 歳、45～54 歳で「知っている」の割合が、25～34 歳で「知らない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	597	100%	84	100%	509	100%
知っている	312	52.3%	33	39.3%	277	54.4%
知らない	285	47.7%	51	60.7%	232	45.6%

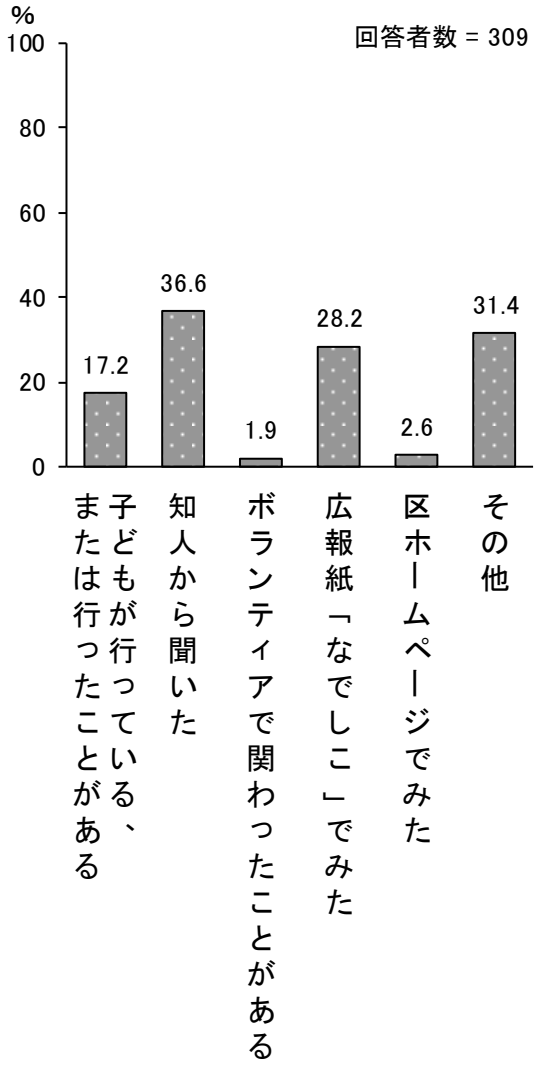


問 13 で「１　知っている」を選ばれた方にお聞きします。

問 14　あなたは、「 子ども食堂」などの子どもの居場所を、どのようにして知りましたか。（○はいくつでも）

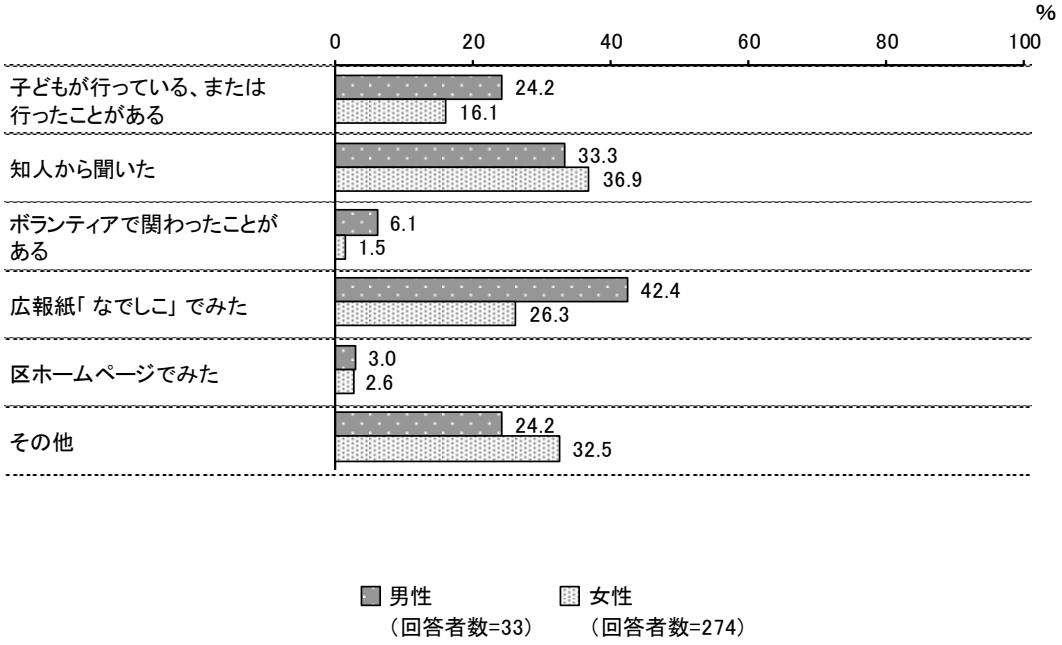
「知人から聞いた」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「広報紙「 なでしこ」 でみた」の割合が 28.2%、「子どもが行っている、または行ったことがある」の割合が 17.2%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	309	100%	33	100%	274	100%
子どもが行っている、または行ったことがある	53	17.2%	8	24.2%	44	16.1%
知人から聞いた	113	36.6%	11	33.3%	101	36.9%
ボランティアで関わったことがある	6	1.9%	2	6.1%	4	1.5%
広報紙「 なでしこ」 でみた	87	28.2%	14	42.4%	72	26.3%
区ホームページでみた	8	2.6%	1	3%	7	2.6%
その他	97	31.4%	8	24.2%	89	32.5%



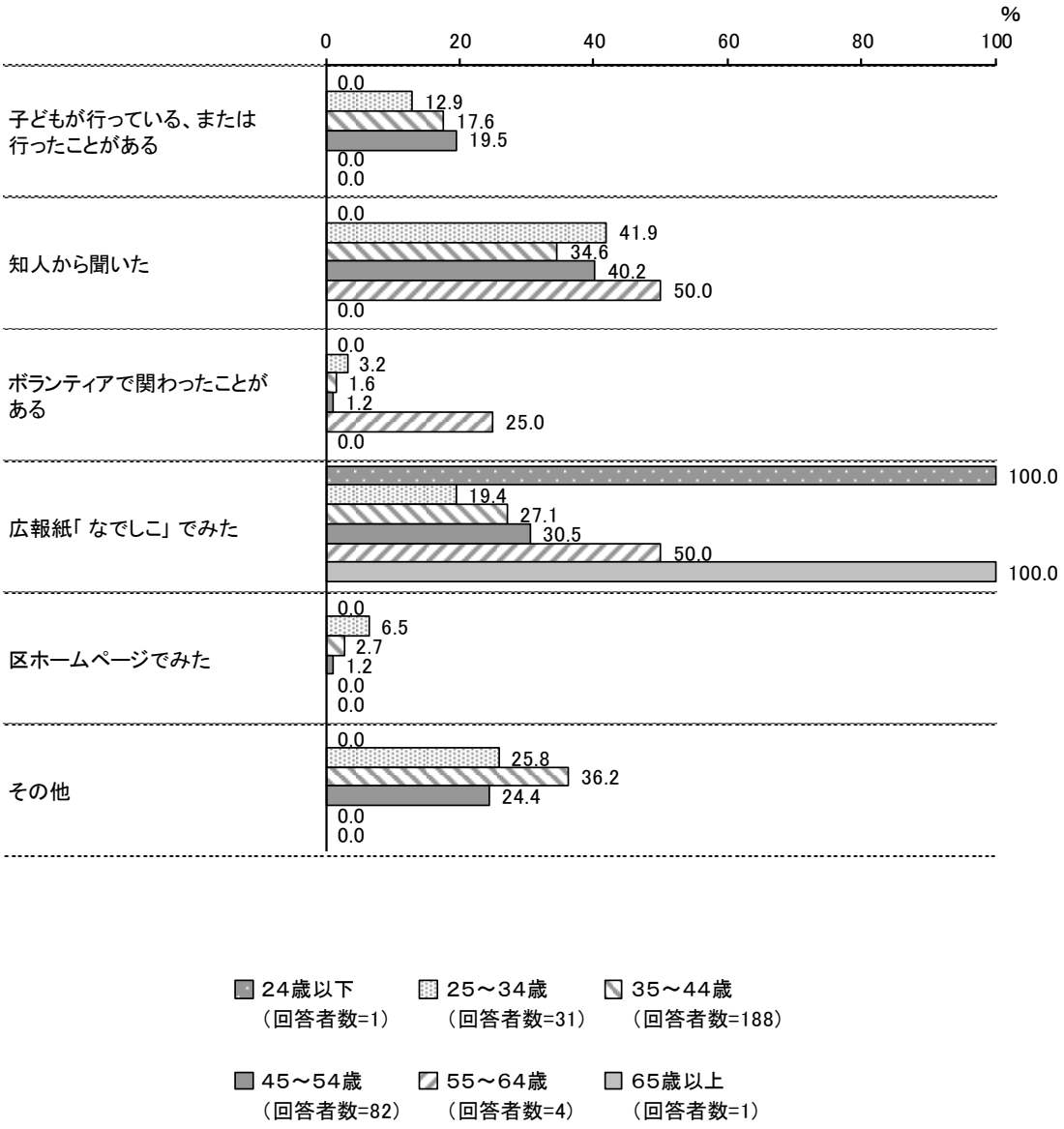
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「子どもが行っている、または行ったことがある」「広報紙「 なでしこ」 でみた」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「知人から聞いた」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「知人から聞いた」の割合が、45～54 歳で「広報紙「 なでしこ」 でみた」の割合が高くなっています。



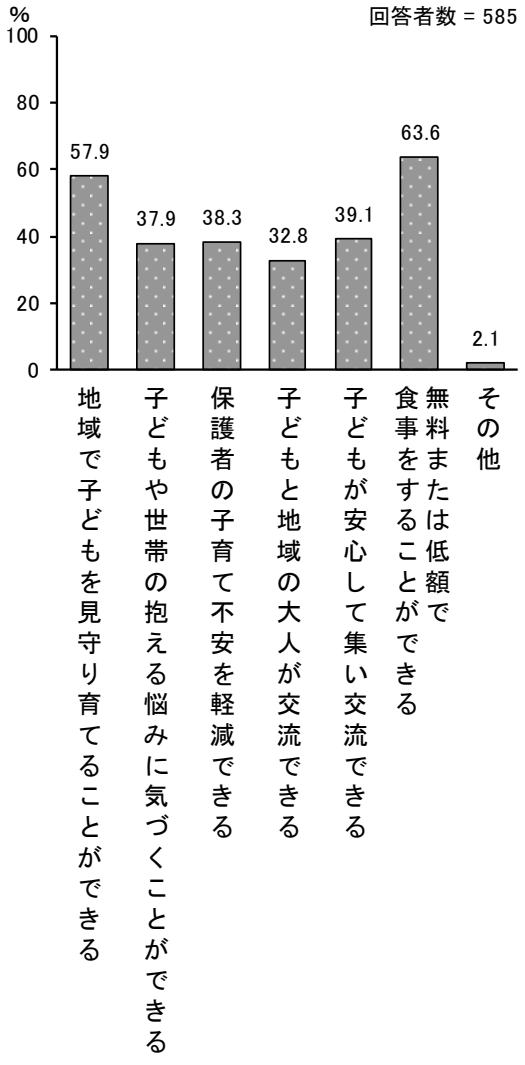
【問 14 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・学校からのお手紙。 ・保育園で配られるチラシ。 ・チラシが入っていた。 ・散歩中に見かけた。

問 15　あなたは、「 子ども食堂」などの子どもの居場所がどのような機能・役割を果たしていると思いますか。（〇はいくつでも）

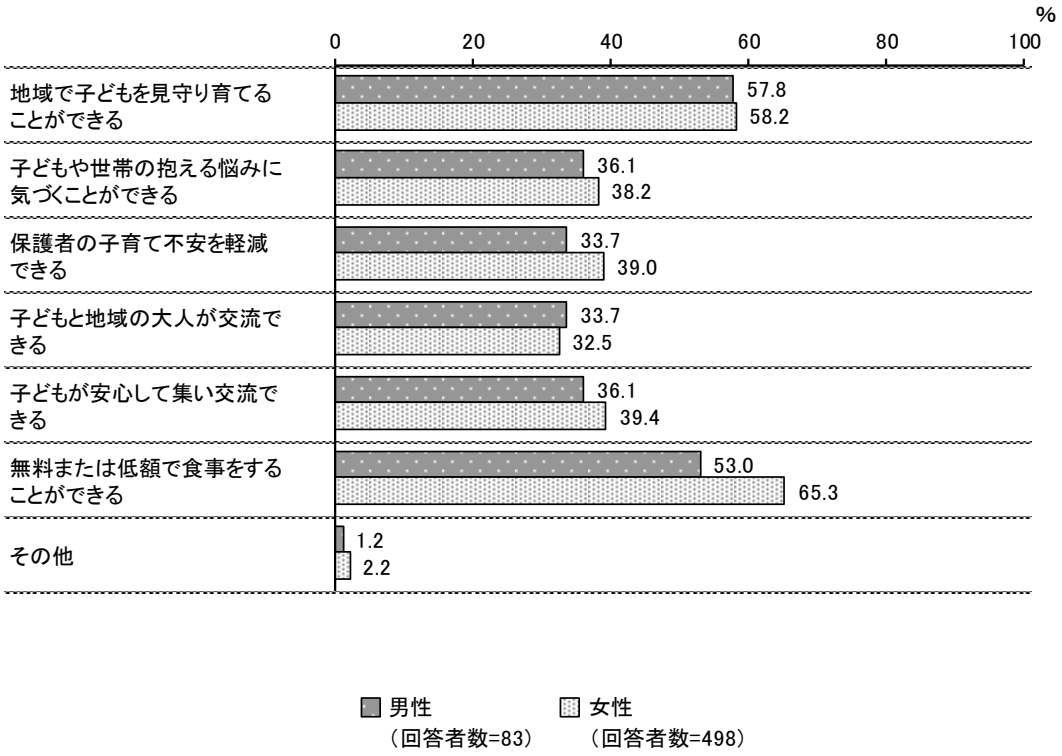
「無料または低額で食事をすることができる」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「地域で子どもを見守り育てることができる」の割合が 57.9%、「子どもが安心して集い交流できる」の割合が 39.1%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	585	100%	83	100%	498	100%
地域で子どもを見守り育てることができる	339	57.9%	48	57.8%	290	58.2%
子どもや世帯の抱える悩みに気づくことができる	222	37.9%	30	36.1%	190	38.2%
保護者の子育て不安を軽減できる	224	38.3%	28	33.7%	194	39%
子どもと地域の大人が交流できる	192	32.8%	28	33.7%	162	32.5%
子どもが安心して集い交流できる	229	39.1%	30	36.1%	196	39.4%
無料または低額で食事をすることができる	372	63.6%	44	53%	325	65.3%
その他	12	2.1%	1	1.2%	11	2.2%



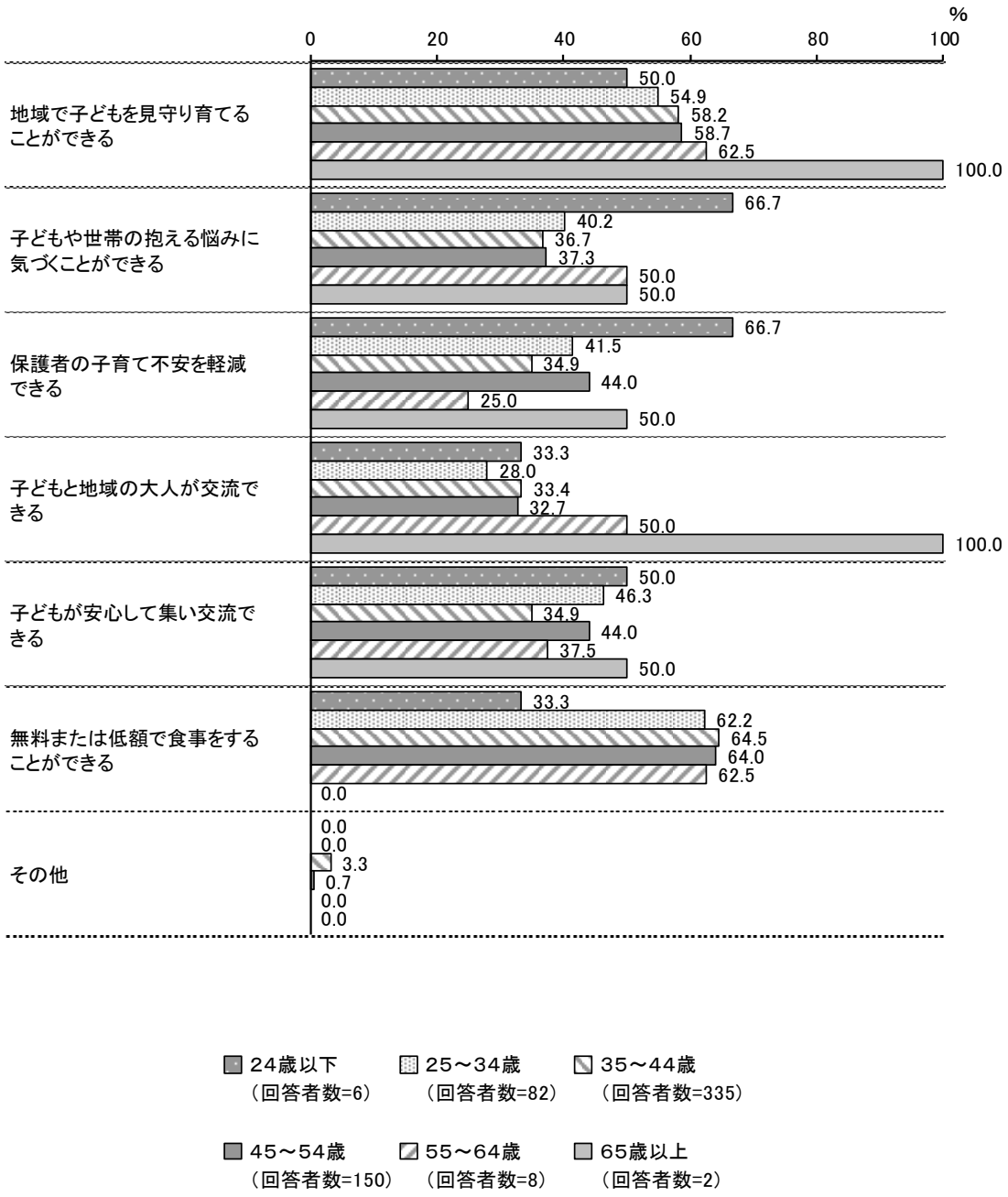
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「保護者の子育て不安を軽減できる」「無料または低額で食事をすることができる」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「地域で子どもを見守り育てることができる」「保護者の子育て不安を軽減できる」の割合が、35～44 歳で「子どもと地域の大人が交流できる」の割合が高くなっています。また、他に比べ、25～34 歳で「子どもが安心して集い交流できる」の割合が高くなっています。



【問 15 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・保護者の息抜きにもなる。

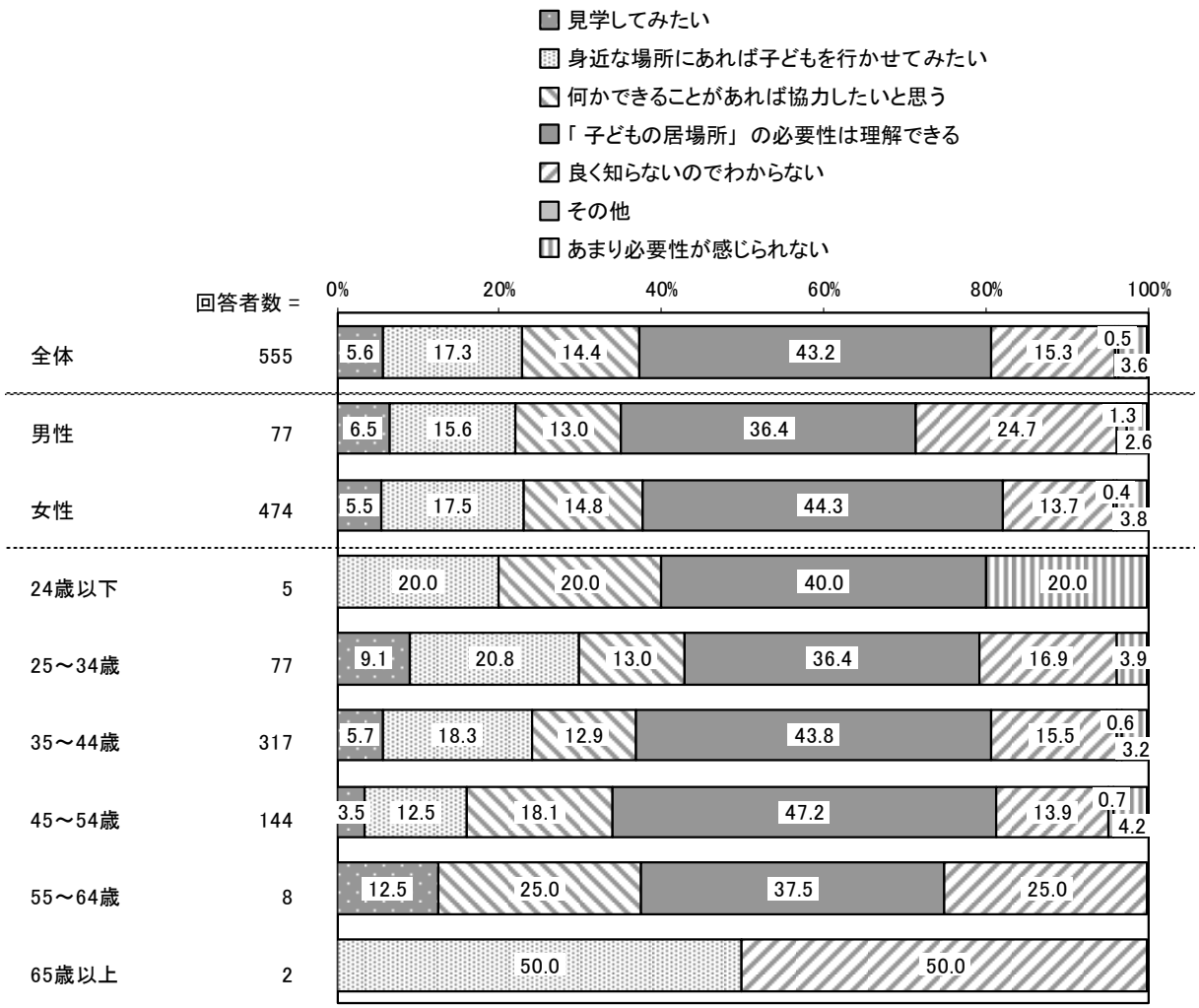
問 16 「 子ども食堂」などの子どもの居場所への関わりについて、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。
（あなたの考えに一番近いものを１つ選び○をつけてください）

「「 子どもの居場所」の必要性は理解できる」の割合が 43.2%と最も高く、次いで「身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい」の割合が 17.3%、「良く知らないのでわからない」の割合が 15.3%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「「 子どもの居場所」の必要性は理解できる」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「良く知らないのでわからない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい」の割合が、45～54 歳で「何かできることがあれば協力したいと思う」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	555	100%	77	100%	474	100%
見学してみたい	31	5.6%	5	6.5%	26	5.5%
身近な場所にあれば子どもを行かせてみたい	96	17.3%	12	15.6%	83	17.5%
何かできることがあれば協力したいと思う	80	14.4%	10	13%	70	14.8%
「 子どもの居場所」の必要性は理解できる	240	43.2%	28	36.4%	210	44.3%
良く知らないのでわからない	85	15.3%	19	24.7%	65	13.7%
その他	3	0.5%	1	1.3%	2	0.4%
あまり必要性が感じられない	20	3.6%	2	2.6%	18	3.8%



【問 16 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・寄付がしたい。

問 16 で「７　あまり必要性が感じられない」を選ばれた方にお聞きします。

問 17　問 16 の選択肢を選ばれた理由を教えてください。
（あなたの考えに一番近いものを１つ選び○をつけてください）

「子どもの生活は親が責任を持つのが当然である」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「家庭や学校などで十分である」の割合が 26.3%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	19	100%	2	100%	17	100%
自分の住む地域には、対象となるような子どもはいない	－	-%	－	-%	－	-%
家庭や学校などで十分である	5	26.3%	1	50%	4	23.5%
子どもの生活は親が責任を持つのが当然である	6	31.6%	1	50%	5	29.4%
その他	8	42.1%	－	-%	8	47.1%

【問 17 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・子供だからといって誰とでも仲良くできるとは限らない。集まりに加わるのが苦手な子供もいる。 ・アレルギー対応していないので利用したくてもできない。

５　親子サロンについて

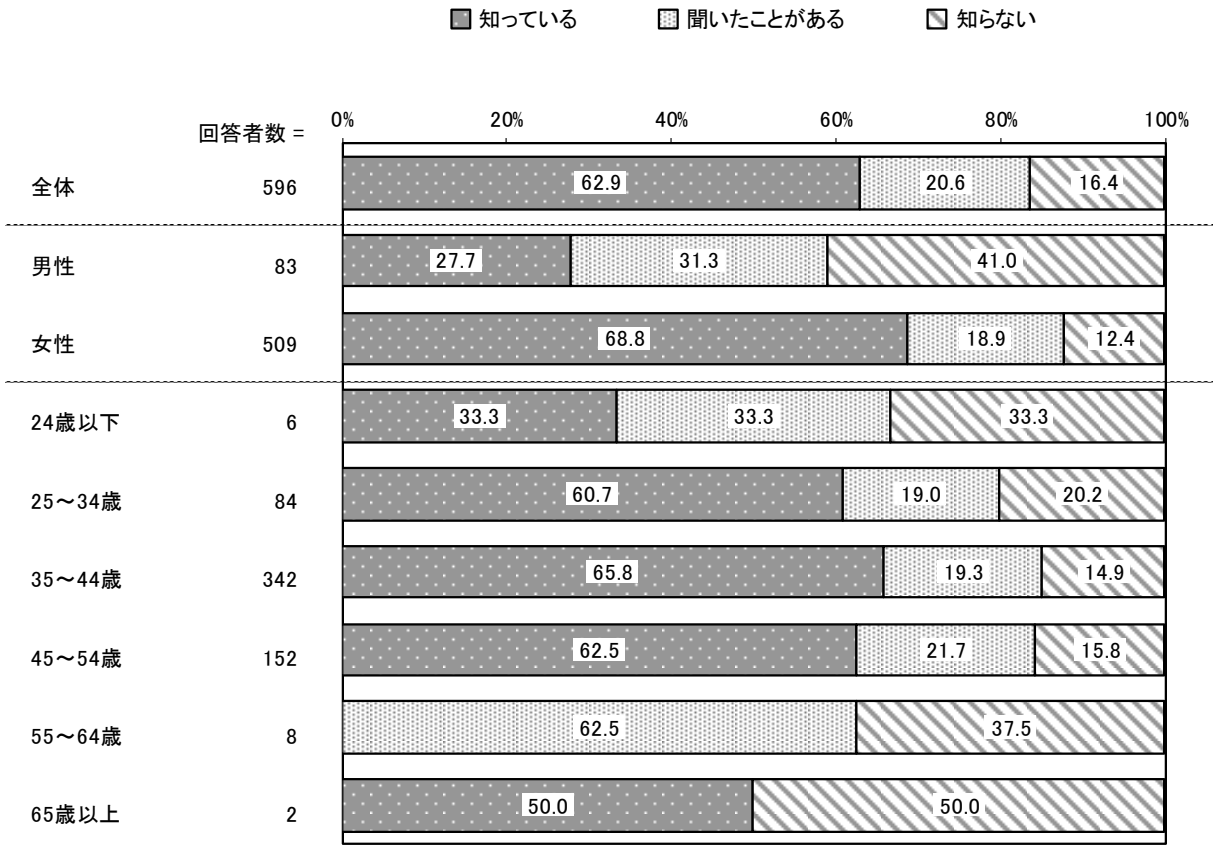
問 18　東住吉区内の各地域にある会館等で、就学前のお子様を対象に、保護者同士が交流できる場として開催されている「親子サロン」を知っていますか。
（１つだけ）

「知っている」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 20.6%、「知らない」の割合が 16.4%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で「知っている」の割合が、25～34 歳で「知らない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	596	100%	83	100%	509	100%
知っている	375	62.9%	23	27.7%	350	68.8%
聞いたことがある	123	20.6%	26	31.3%	96	18.9%
知らない	98	16.4%	34	41%	63	12.4%



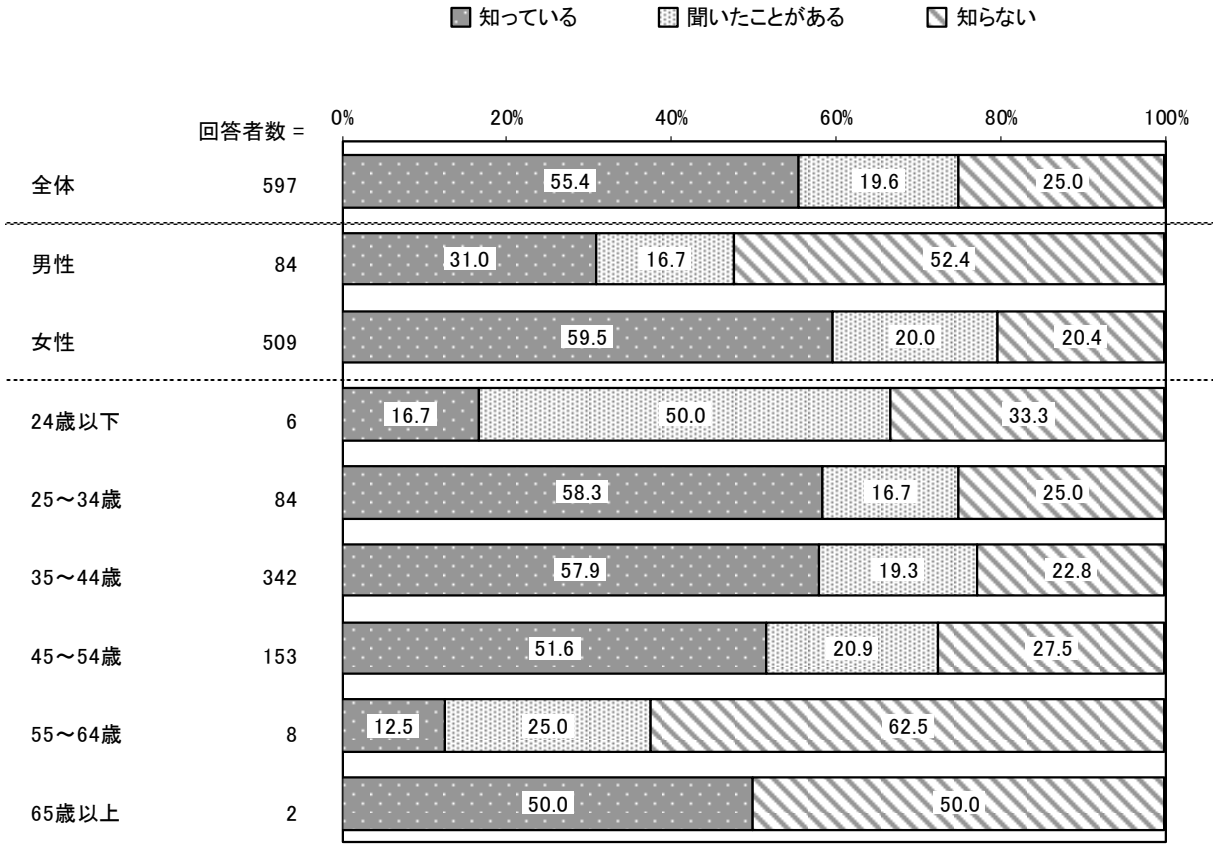
問 19　親子サロンでは、保健師による育児相談や健康講座を実施していますが知っていますか。（１つだけ）

「知っている」の割合が 55.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 25.0%、「聞いたことがある」の割合が 19.6%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「知っている」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳、35～44 歳で「知っている」の割合が、45～54 歳で「知らない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	597	100%	84	100%	509	100%
知っている	331	55.4%	26	31%	303	59.5%
聞いたことがある	117	19.6%	14	16.7%	102	20%
知らない	149	25.0%	44	52.4%	104	20.4%



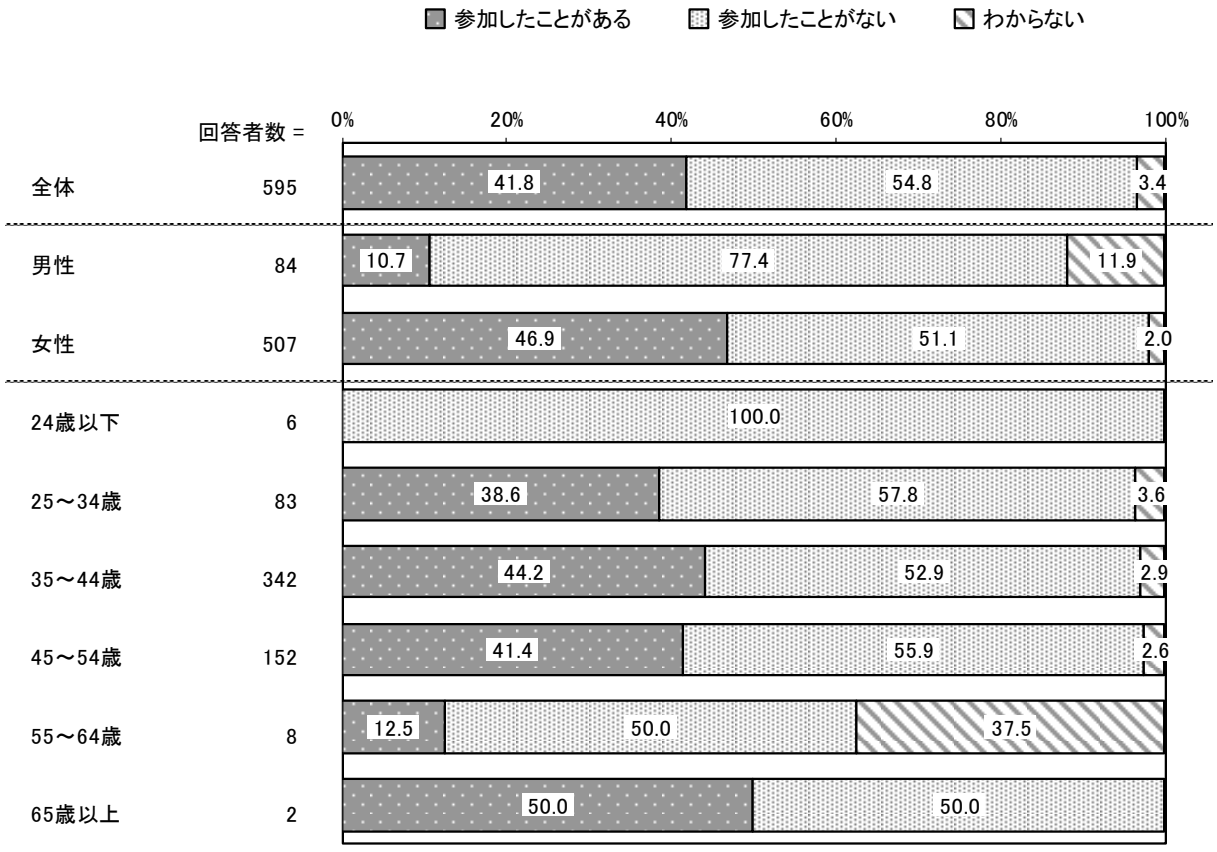
問 20　地域で開催されている親子サロンに参加されたことがありますか。（１つだけ）

「参加したことがない」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「参加したことがある」の割合が 41.8%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で「参加したことがある」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で「参加したことがある」の割合が、25～34 歳で「参加したことがない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	595	100%	84	100%	507	100%
参加したことがある	249	41.8%	9	10.7%	238	46.9%
参加したことがない	326	54.8%	65	77.4%	259	51.1%
わからない	20	3.4%	10	11.9%	10	2%

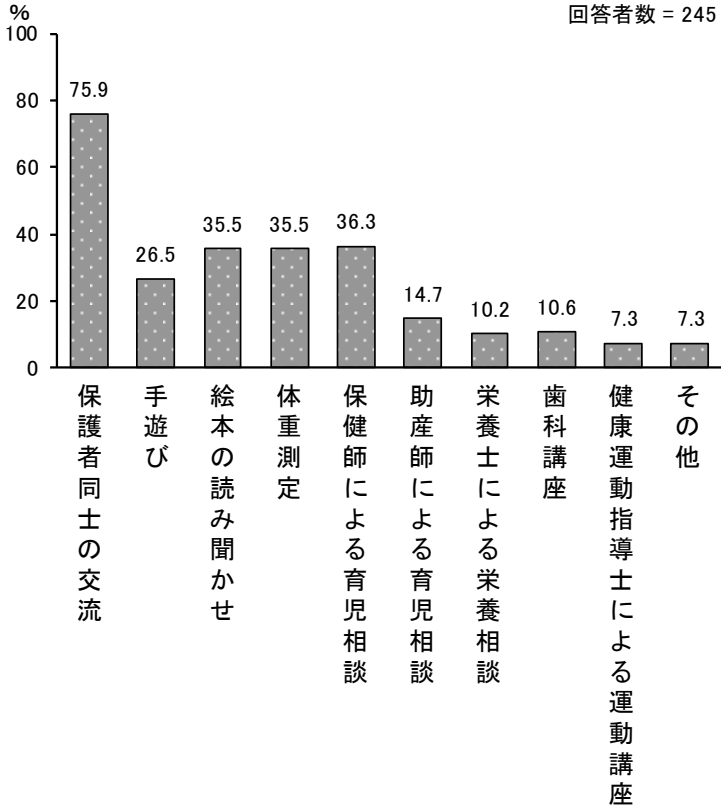


問 20 で「１　参加したことがある」を選ばれた方にお聞きします。

問 21　親子サロンで印象に残っていることは何ですか。該当する番号を全て選んでください。（○はいくつでも）

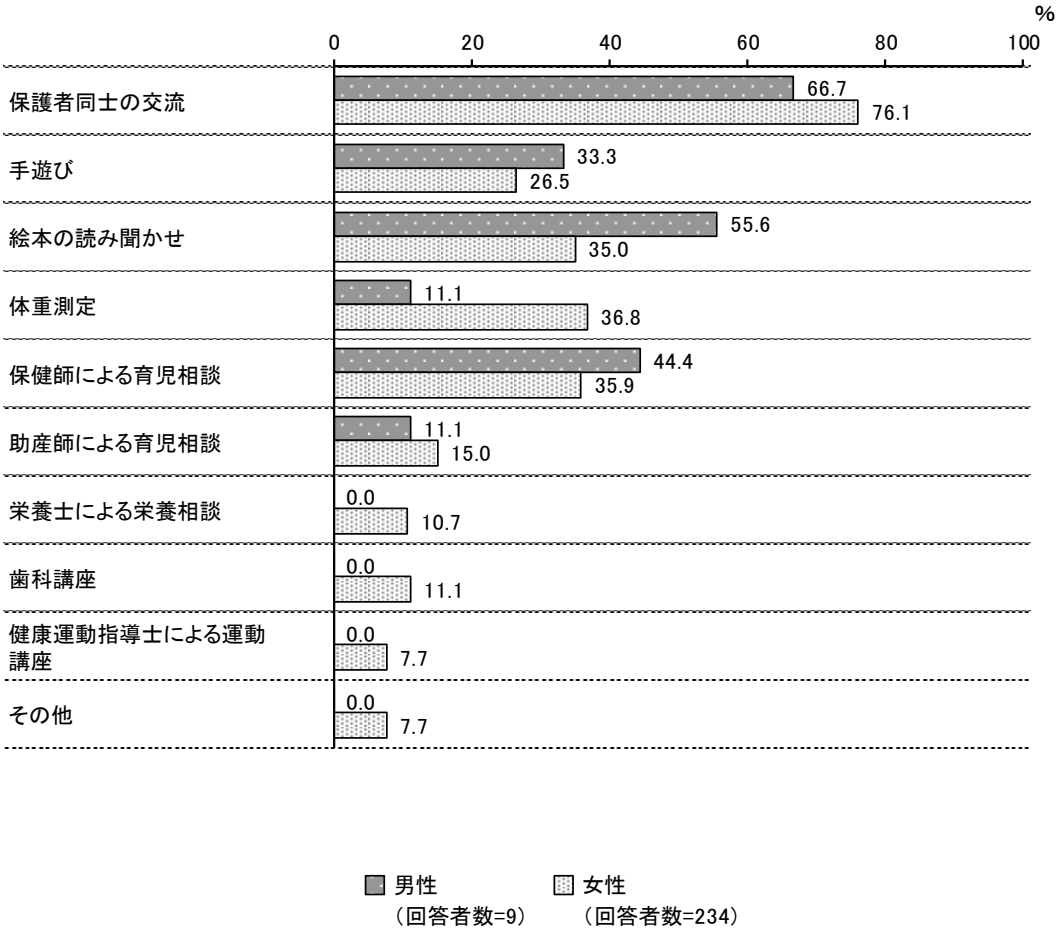
「保護者同士の交流」の割合が 75.9％と最も高く、次いで「保健師による育児相談」の割合が 36.3％、「絵本の読み聞かせ」、「体重測定」の割合が 35.5％となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	245	100%	9	100%	234	100%
保護者同士の交流	186	75.9%	6	66.7%	178	76.1%
手遊び	65	26.5%	3	33.3%	62	26.5%
絵本の読み聞かせ	87	35.5%	5	55.6%	82	35%
体重測定	87	35.5%	1	11.1%	86	36.8%
保健師による育児相談	89	36.3%	4	44.4%	84	35.9%
助産師による育児相談	36	14.7%	1	11.1%	35	15%
栄養士による栄養相談	25	10.2%	－	－%	25	10.7%
歯科講座	26	10.6%	－	－%	26	11.1%
健康運動指導士による運動講座	18	7.3%	－	－%	18	7.7%
その他	18	7.3%	－	－%	18	7.7%



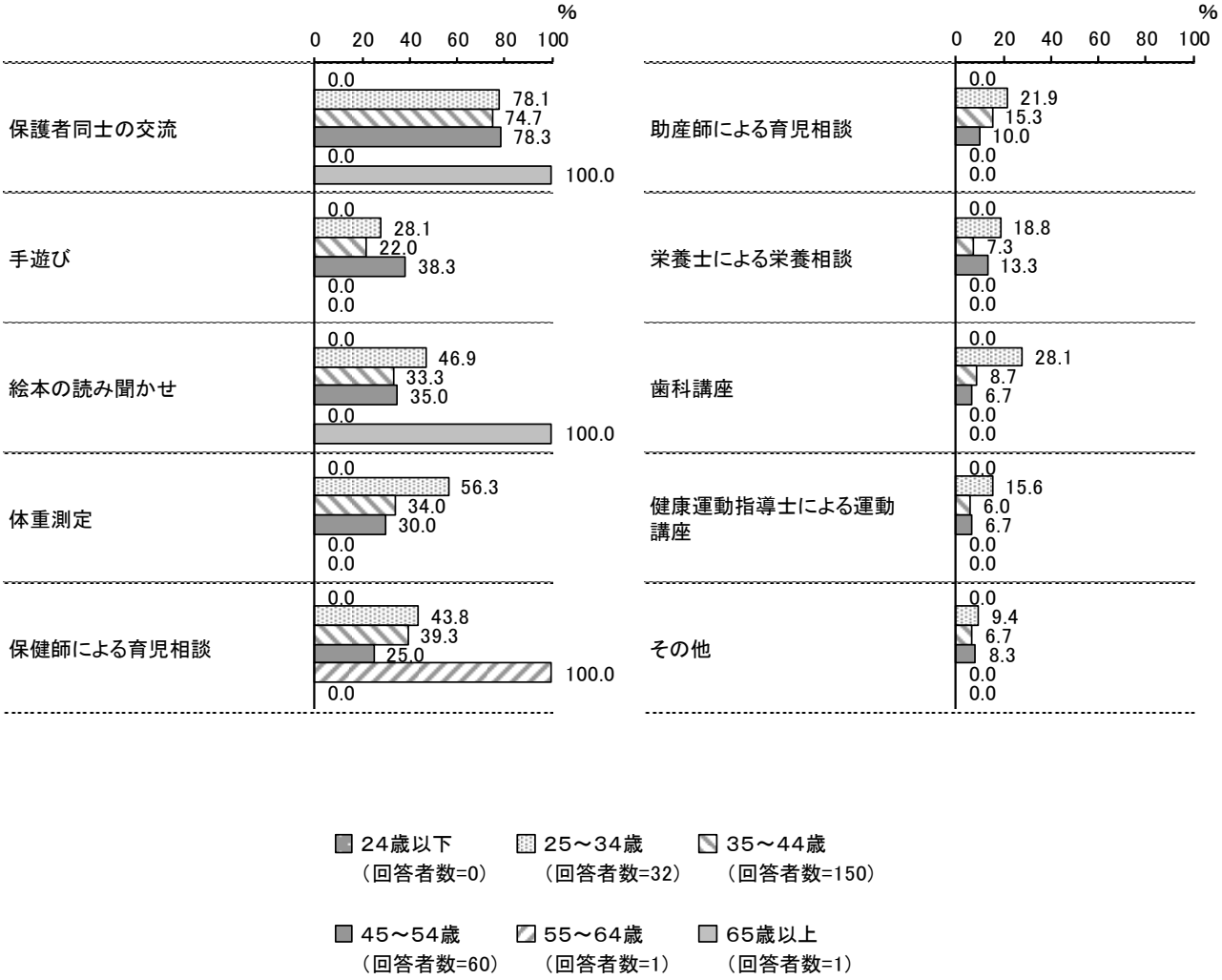
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「保護者同士の交流」「体重測定」「助産師による育児相談」「栄養士による栄養相談」「歯科講座」「健康運動指導士による運動講座」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「手遊び」「絵本の読み聞かせ」「保健師による育児相談」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「手遊び」の割合が、25～34 歳で「絵本の読み聞かせ」「体重測定」「保健師による育児相談」「助産師による育児相談」「栄養士による栄養相談」「歯科講座」「健康運動指導士による運動講座」の割合が高くなっています。



【問 21 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・スタッフさんとの交流。

問 20 で「１　参加したことがある」を選ばれた方にお聞きします。

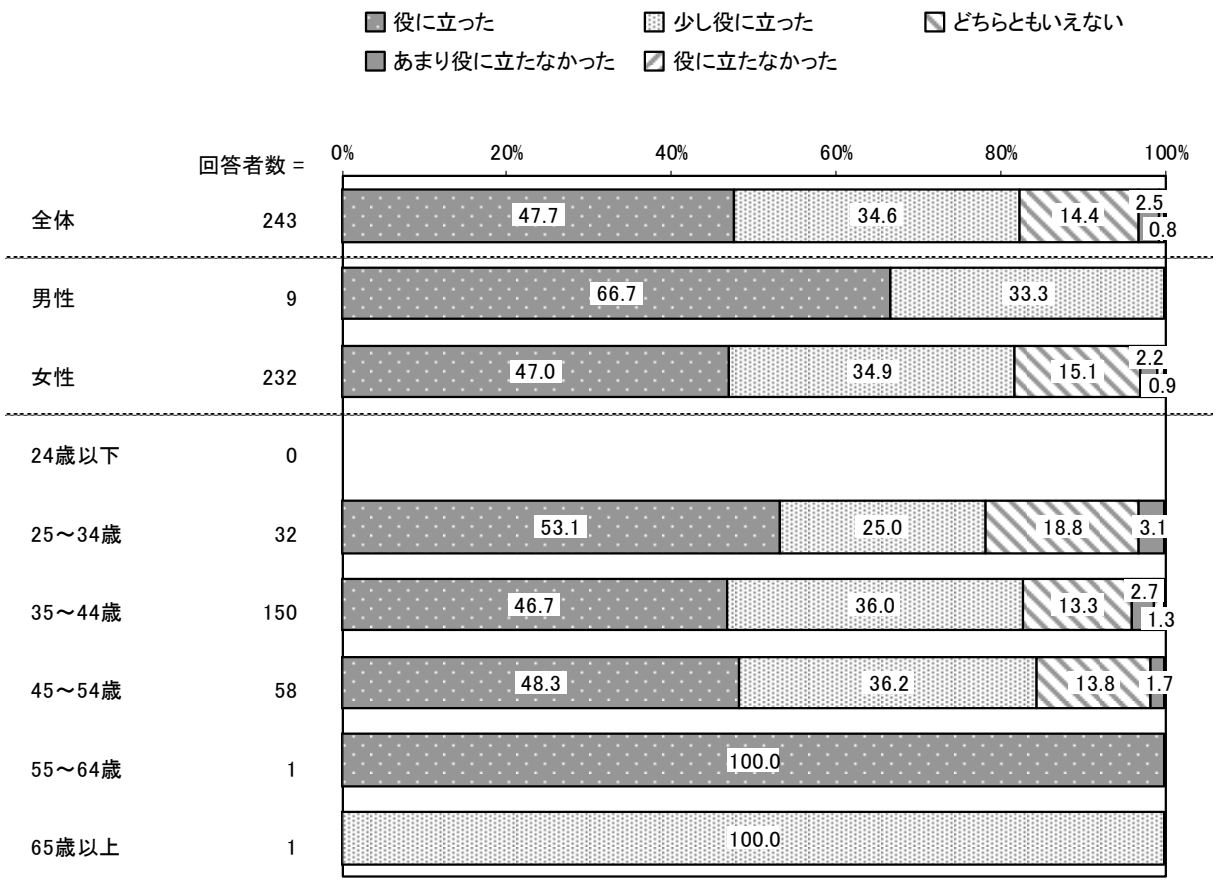
問 22　親子サロンでの保健師や助産師による育児相談や栄養相談、健康講座（運動講座・歯科講座）は、子育てや健康づくりに役立ちましたか。（１つだけ）

「役に立った」と「少し役に立った」を合わせた“役に立った”の割合が 82.3%、「あまり役に立たなかった」と「役に立たなかった」を合わせた“役に立たなかった”の割合が 3.3%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で“役に立った”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で“役に立った”の割合が、25～34 歳で“役に立たなかった”の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	243	100%	9	100%	232	100%
役に立った	116	47.7%	6	66.7%	109	47%
少し役に立った	84	34.6%	3	33.3%	81	34.9%
どちらともいえない	35	14.4%	−	−%	35	15.1%
あまり役に立たなかった	6	2.5%	−	−%	5	2.2%
役に立たなかった	2	0.8%	−	−%	2	0.9%



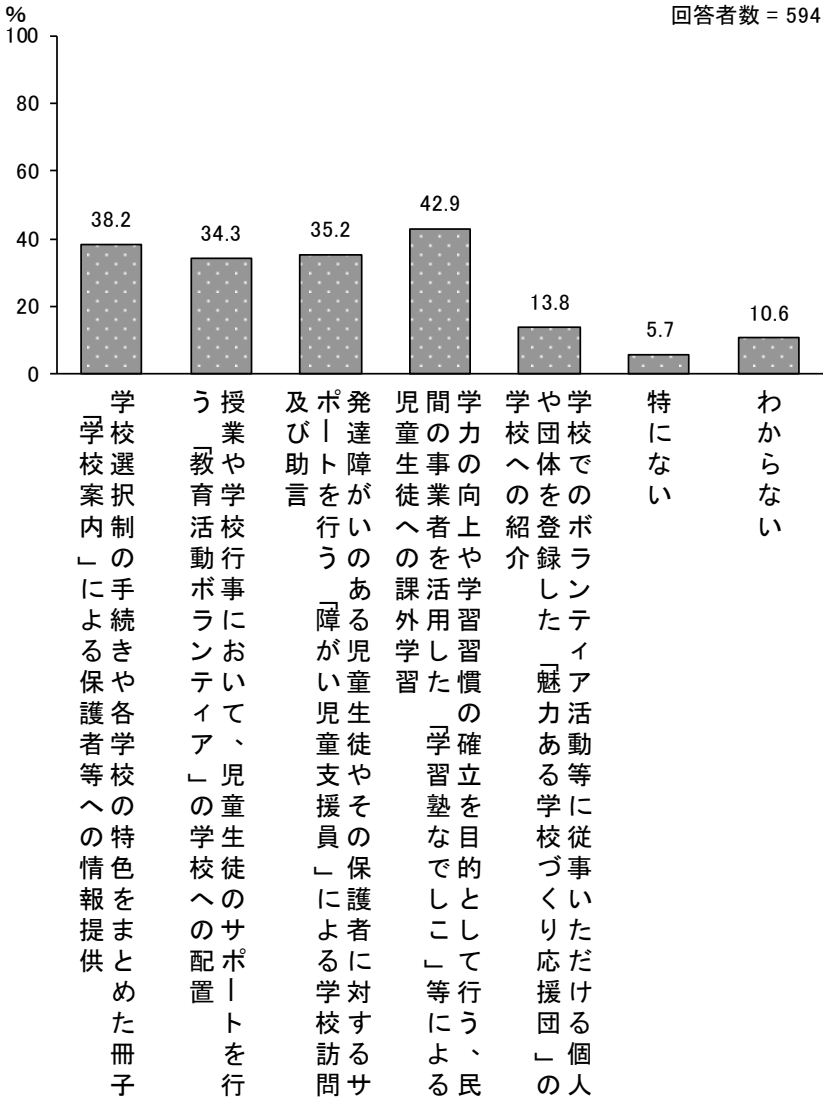
６　学校教育活動支援について

区役所では、区内の小中学校が魅力ある学校づくりを行えるよう、学校教育活動の支援に取り組んでいます。

問 23　区役所が行っている下記の代表的な学校教育活動支援の取組のうち、あなたはその取組に力をいれるべきだと思いますか。（○はいくつでも）

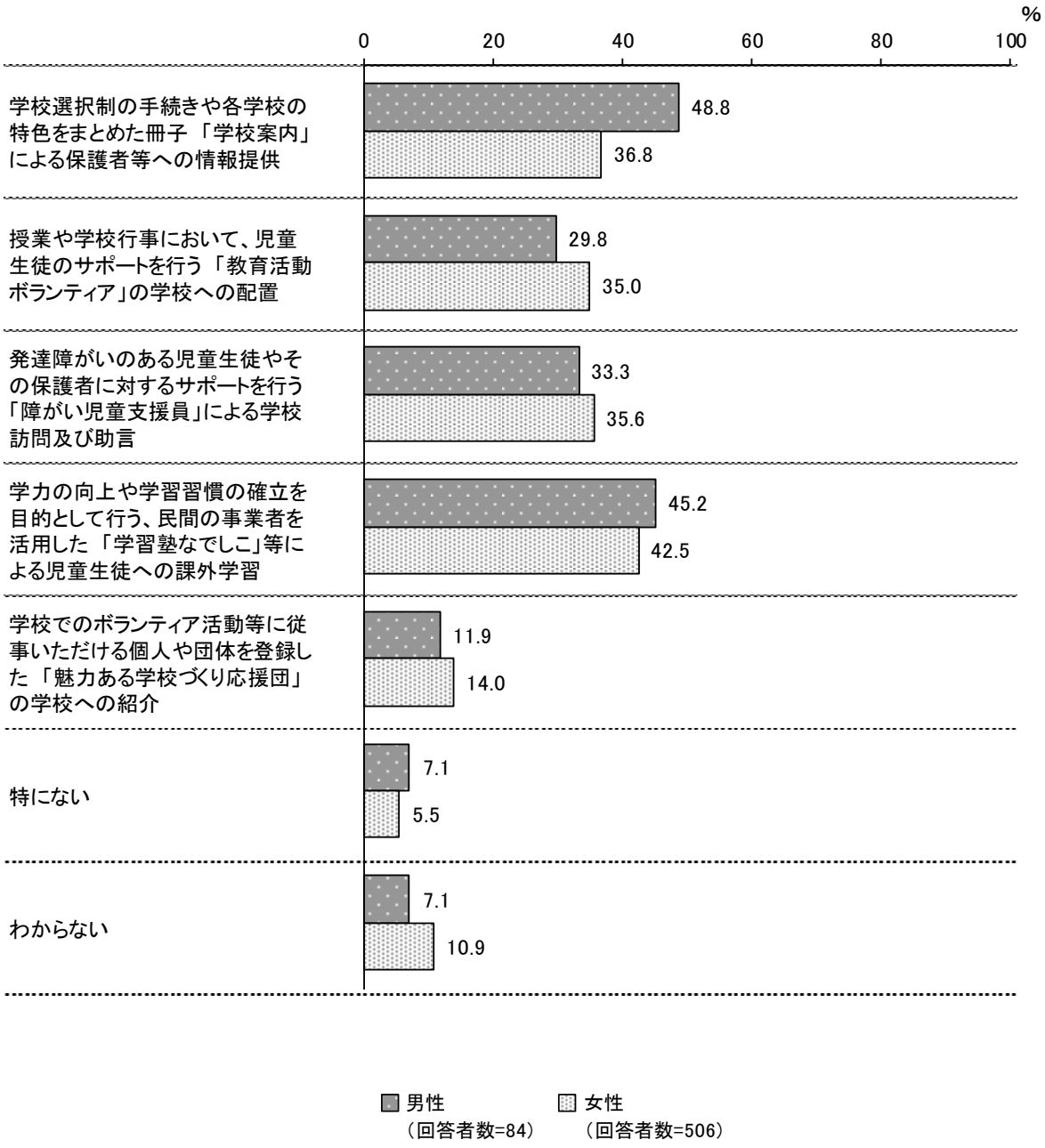
「学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供」の割合が 38.2%、「発達障がいのある児童生徒やその保護者に対するサポートを行う「障がい児童支援員」による学校訪問及び助言」の割合が 35.2%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	594	100%	84	100%	506	100%
学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子　「学校案内」による保護者等への情報提供	227	38.2%	41	48.8%	186	36.8%
授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う　「教育活動ボランティア」の学校への配置	204	34.3%	25	29.8%	177	35%
発達障がいのある児童生徒やその保護者に対するサポートを行う　「障がい児童支援員」による学校訪問及び助言	209	35.2%	28	33.3%	180	35.6%
学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した　「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習	255	42.9%	38	45.2%	215	42.5%
学校でのボランティア活動等に従事いただける個人や団体を登録した　「魅力ある学校づくり応援団」の学校への紹介（同封のチラシをご覧ください。）	82	13.8%	10	11.9%	71	14%
特にない	34	5.7%	6	7.1%	28	5.5%
わからない	63	10.6%	6	7.1%	55	10.9%


%
回答者数 = 594
100
80
60
40
20
0
38.2
34.3
35.2
42.9
13.8
5.7
10.6
学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供
授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置
発達障がいのある児童生徒やその保護者に対するサポートを行う「障がい児童支援員」による学校訪問及び助言
学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習
学校でのボランティア活動等に従事いただける個人や団体を登録した「魅力ある学校づくり応援団」の学校への紹介
特にない
わからない

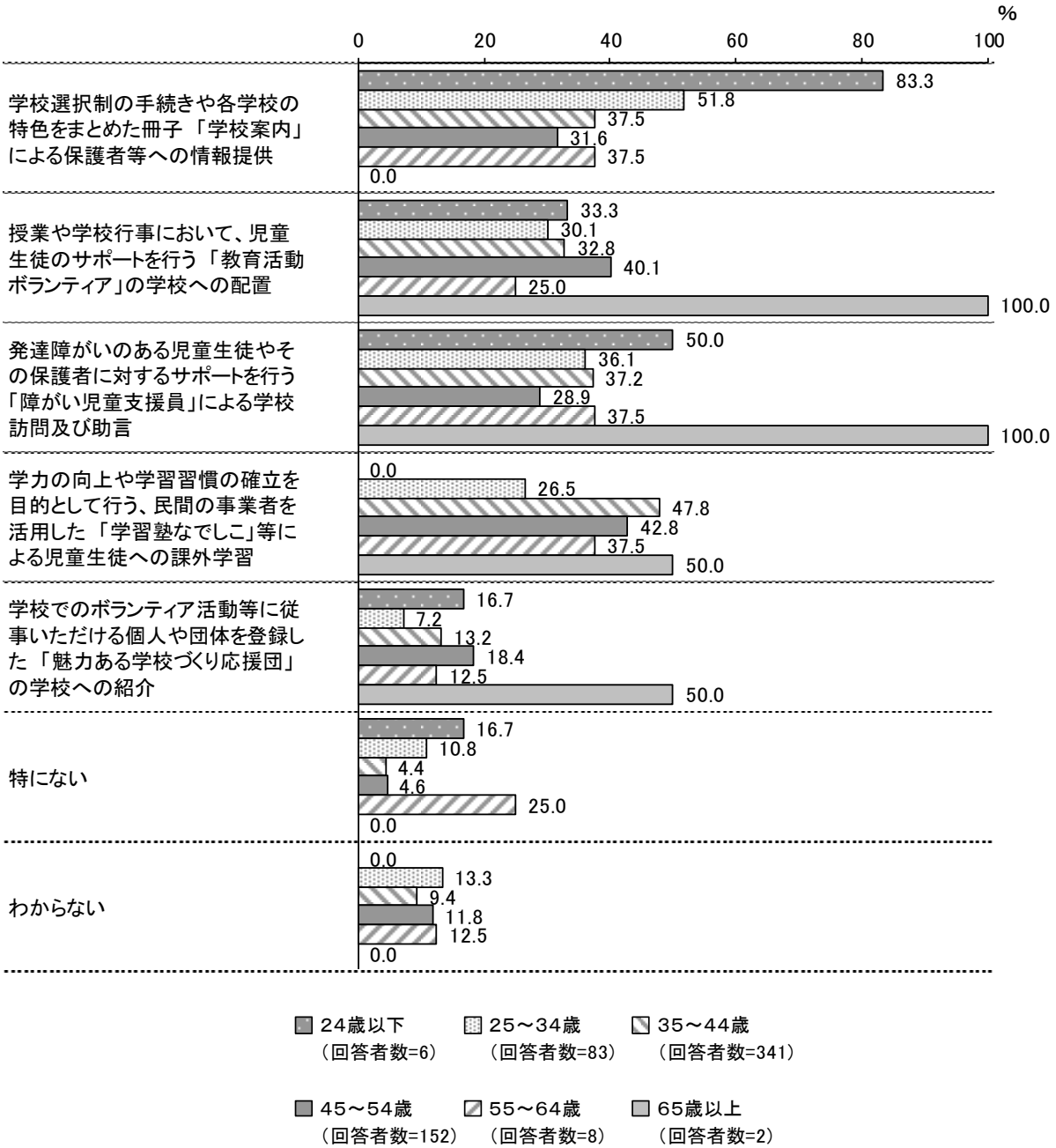
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置」の割合が、高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「学校選択制の手続きや各学校の特色をまとめた冊子「学校案内」による保護者等への情報提供」の割合が、45～54 歳で「授業や学校行事において、児童生徒のサポートを行う「教育活動ボランティア」の学校への配置」「学校でのボランティア活動等に従事いただける個人や団体を登録した「魅力ある学校づくり応援団」の学校への紹介（同封のチラシをご覧ください。）」の割合が高くなっています。また、他に比べ、35～44 歳で「発達障がいのある児童生徒やその保護者に対するサポートを行う「障がい児童支援員」による学校訪問及び助言」「学力の向上や学習習慣の確立を目的として行う、民間の事業者を活用した「学習塾なでしこ」等による児童生徒への課外学習」の割合が高くなっています。



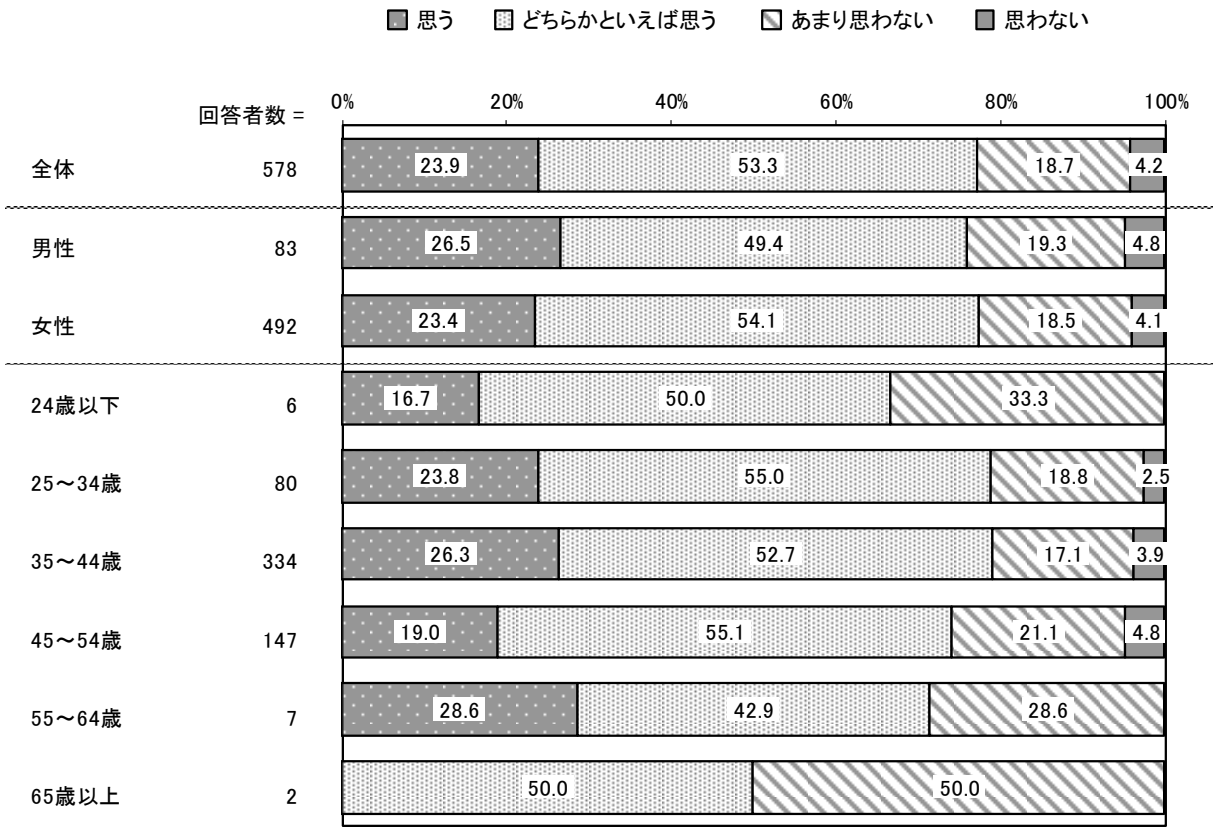
問 24　問 23 に記載している区役所による学校支援の取組等は区内の小中学校の教育内容の充実につながっていると思いますか。（１つだけ）

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が 77.2%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 22.9%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられませんでした。

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳、35～44 歳で“思う”の割合が、45～54 歳で“思わない”の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	578	100%	83	100%	492	100%
思う	138	23.9%	22	26.5%	115	23.4%
どちらかといえば思う	308	53.3%	41	49.4%	266	54.1%
あまり思わない	108	18.7%	16	19.3%	91	18.5%
思わない	24	4.2%	4	4.8%	20	4.1%



7　子育てについて

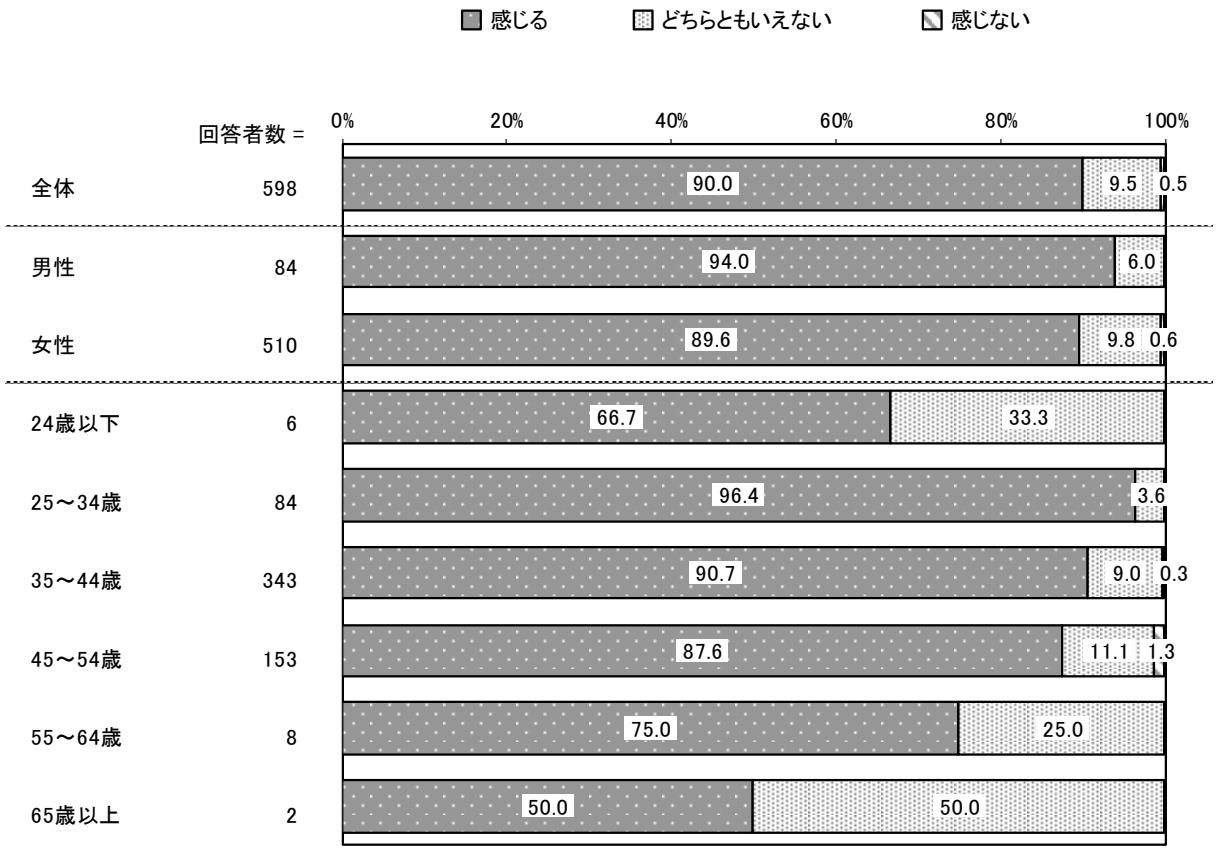
問 25　あなたは、子育ての中で楽しさを感じることはありますか。（１つだけ）

「感じる」の割合が 90.0%と最も高くなっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「感じる」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「感じる」の割合が、45～54 歳で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	598	100%	84	100%	510	100%
感じる	538	90%	79	94%	457	89.6%
どちらともいえない	57	9.5%	5	6%	50	9.8%
感じない	3	0.5%	−	−%	3	0.6%



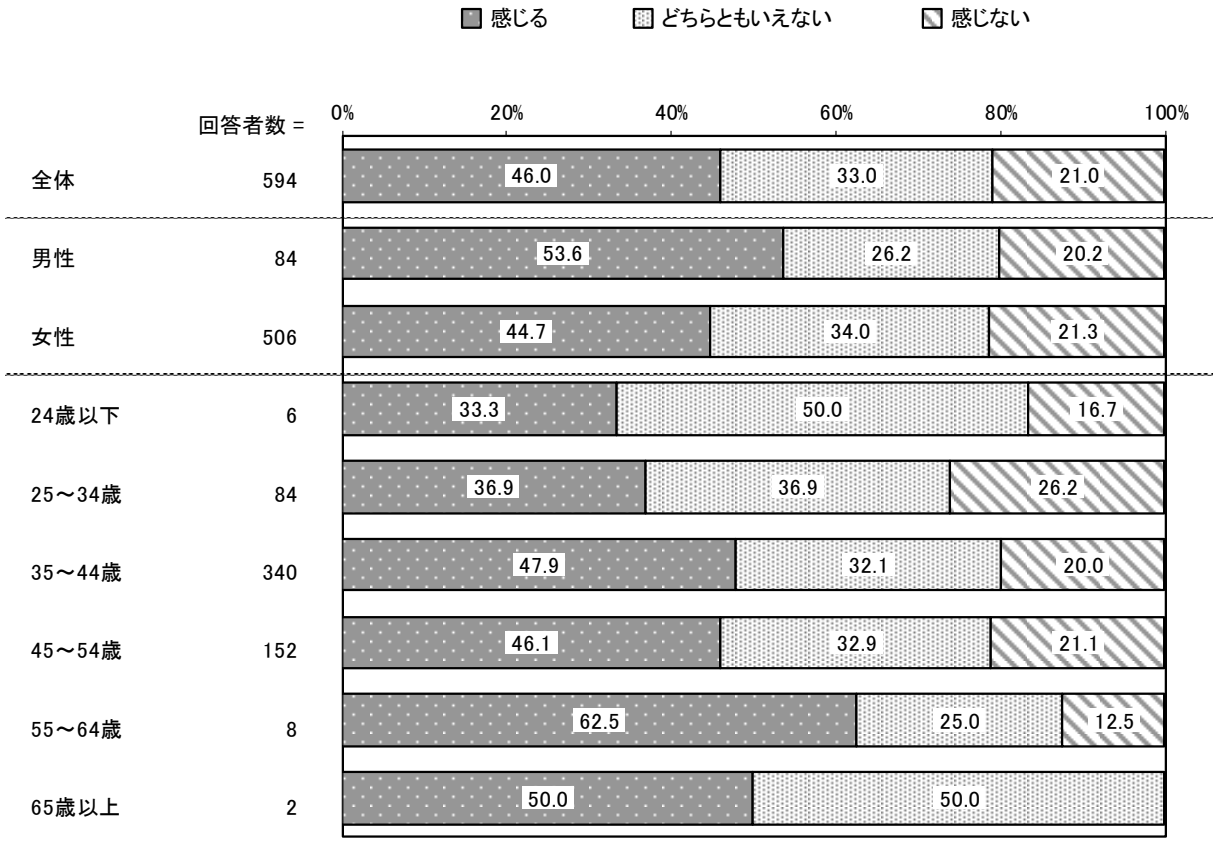
問 26　あなたは、日ごろ子育てに対する不安を感じていますか。（１つだけ）

「感じる」の割合が 46.0%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 33.0%、「感じない」の割合が 21.0%となっています。

性別でみると、女性に比べ、男性で「感じる」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で「感じる」の割合が、25～34 歳で「どちらともいえない」「感じない」の割合が高くなっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	594	100%	84	100%	506	100%
感じる	273	46%	45	53.6%	226	44.7%
どちらともいえない	196	33%	22	26.2%	172	34%
感じない	125	21%	17	20.2%	108	21.3%

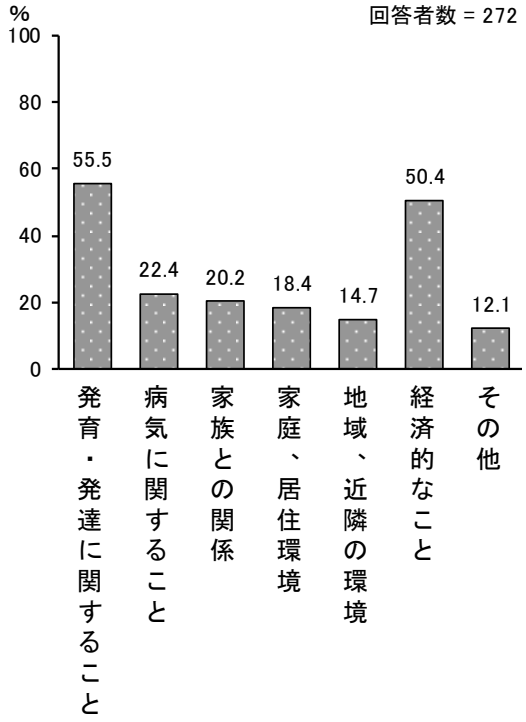


問 26 で「１　感じる」を選ばれた方にお聞きします。

問 27　あなたは、子育てをしている中で、不安に感じている内容は、どのようなことですか。（○はいくつでも）

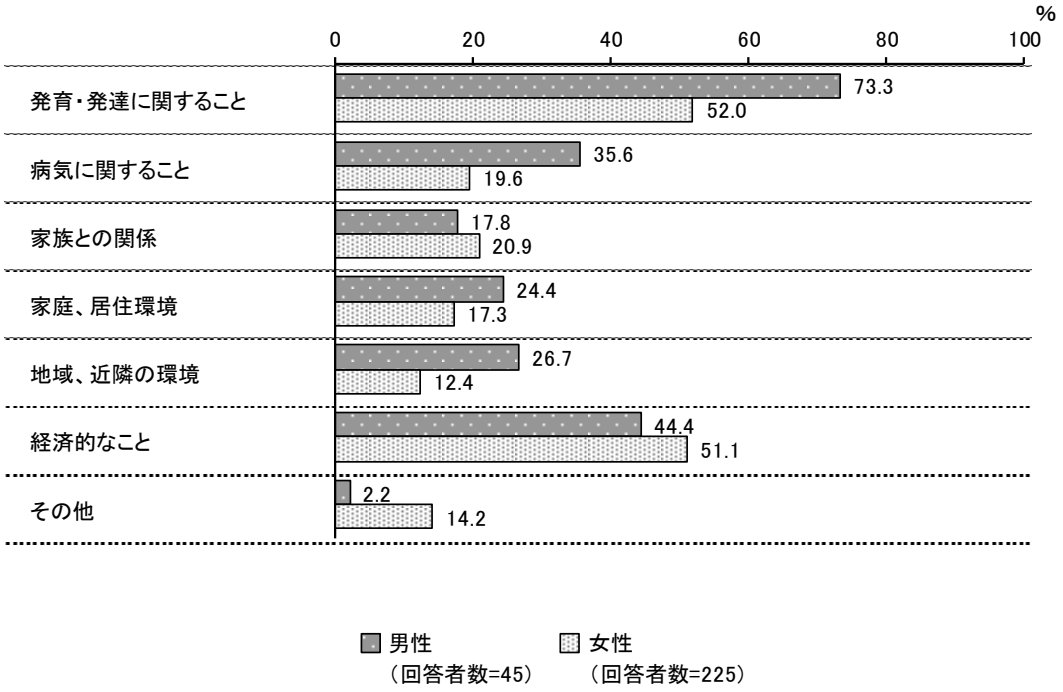
「発育・発達に関すること」の割合が 55.5%と最も高く、次いで「経済的なこと」の割合が 50.4%、「病気に関すること」の割合が 22.4%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	272	100%	45	100%	225	100%
発育・発達に関すること	151	55.5%	33	73.3%	117	52%
病気に関すること	61	22.4%	16	35.6%	44	19.6%
家族との関係	55	20.2%	8	17.8%	47	20.9%
家庭、居住環境	50	18.4%	11	24.4%	39	17.3%
地域、近隣の環境	40	14.7%	12	26.7%	28	12.4%
経済的なこと	137	50.4%	20	44.4%	115	51.1%
その他	33	12.1%	1	2.2%	32	14.2%



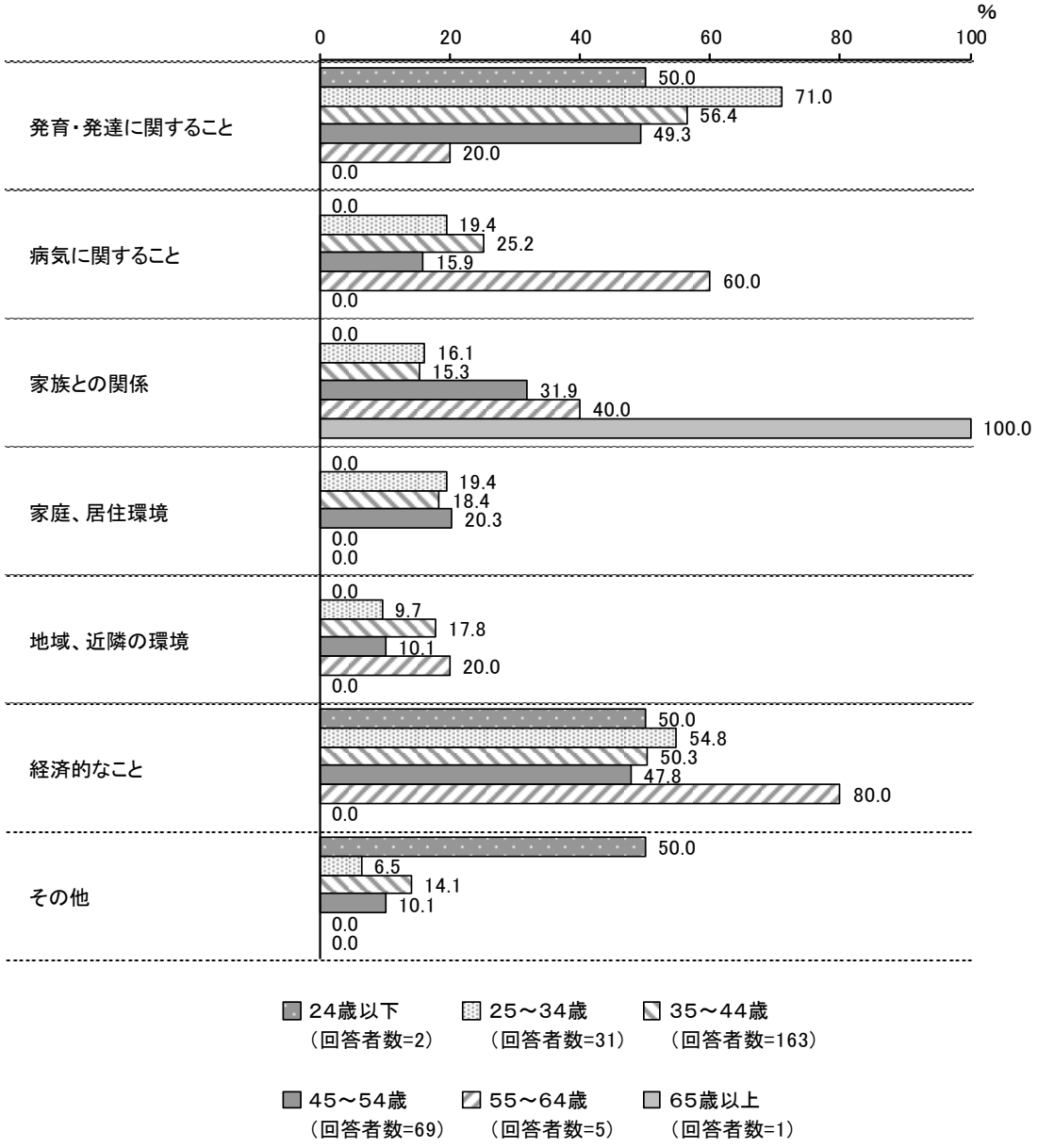
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「発育・発達に関すること」「病気に関すること」「家庭、居住環境」「地域、近隣の環境」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「経済的なこと」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「発育・発達に関すること」「経済的なこと」の割合が、35～44 歳で「病気に関すること」「地域、近隣の環境」の割合が高くなっています。また、45～54 歳で「家族との関係」の割合が高くなっています。



【問 27 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

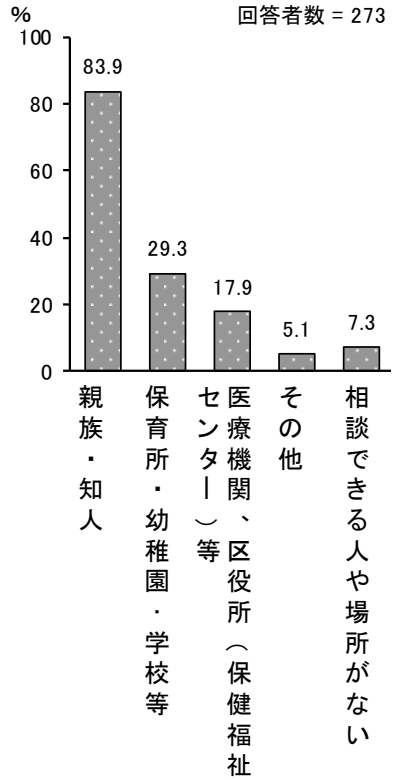
内容
・学習、子供の進路など。 ・障がい児なので、思い通りにいかなくて辛い。 ・子どもの半不登校。 ・子供への接し方、しつけ方等。

問 26 で「１　感じる」を選ばれた方にお聞きします。

問 28　あなたは、子育てに不安を感じたときに誰(どこ)に相談しますか。
（○はいくつでも）

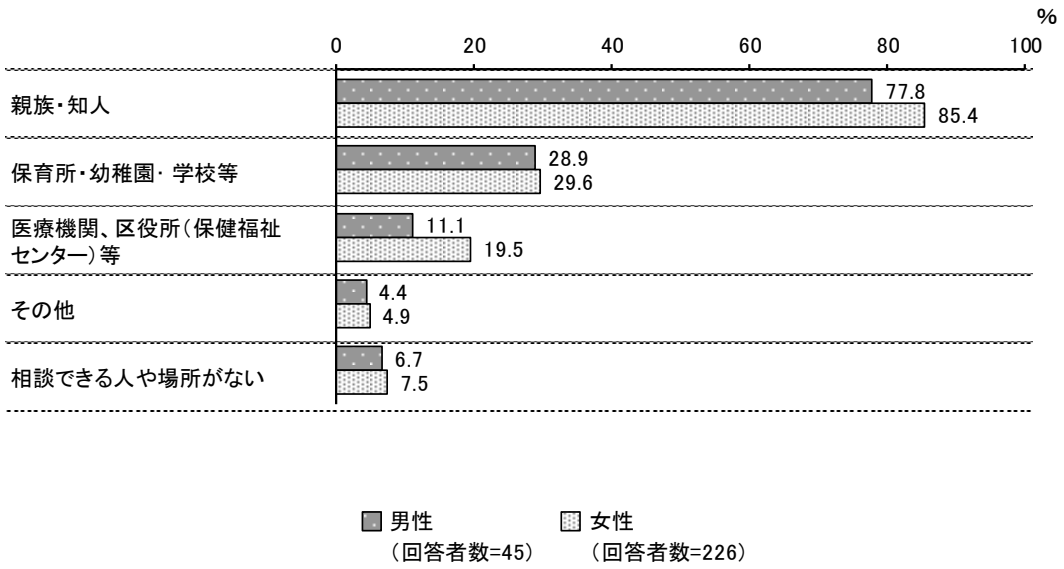
「親族・知人」の割合が 83.9%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園・ 学校等」の割合が 29.3%、「医療機関、区役所（保健福祉センター）等」の割合が 17.9%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	273	100%	45	100%	226	100%
親族・知人	229	83.9%	35	77.8%	193	85.4%
保育所・幼稚園・ 学校等	80	29.3%	13	28.9%	67	29.6%
医療機関、区役所(保健福祉センター)等	49	17.9%	5	11.1%	44	19.5%
その他	14	5.1%	2	4.4%	11	4.9%
相談できる人や場所がない	20	7.3%	3	6.7%	17	7.5%



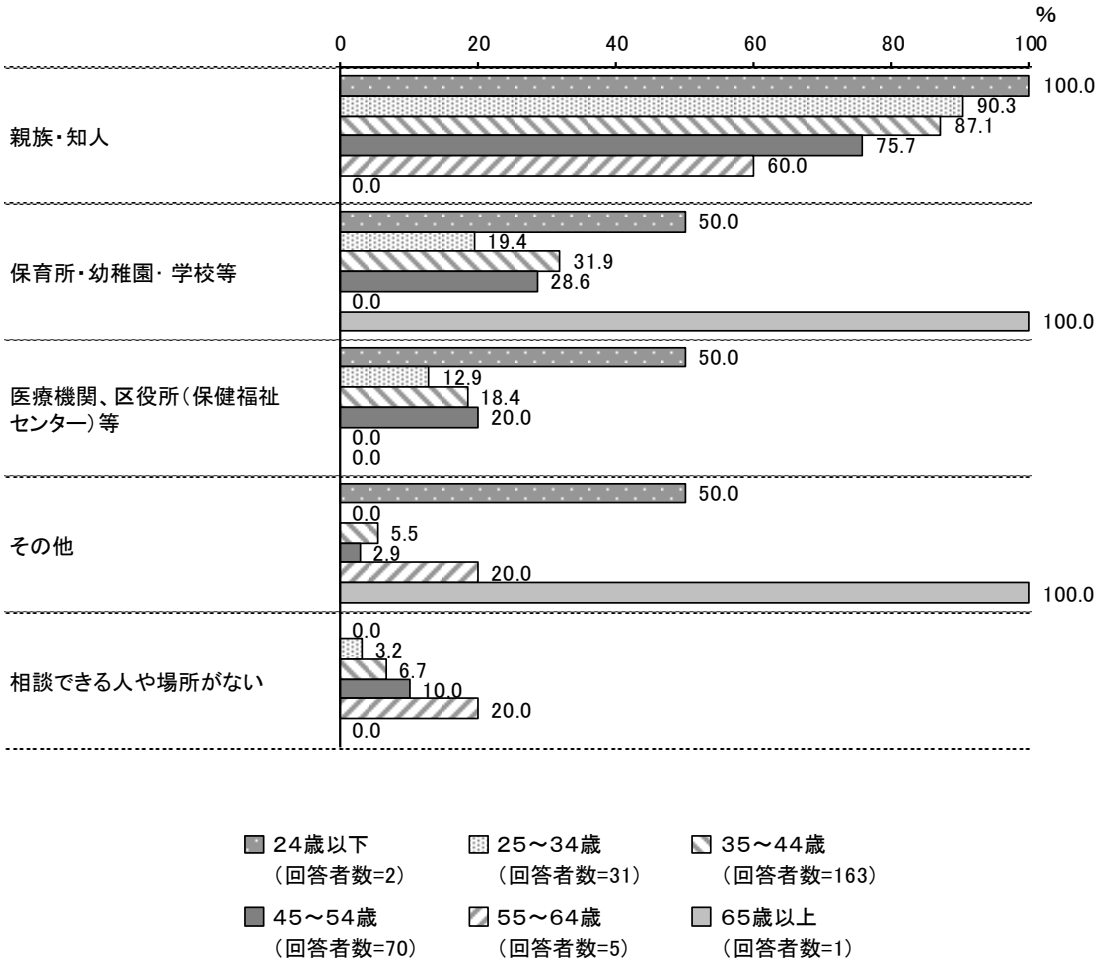
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「親族・知人」「医療機関、区役所（保健福祉センター）等」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、25～34 歳で「親族・知人」の割合が、35～44 歳で「保育所・幼稚園・ 学校等」の割合が高くなっています。また、45～54 歳で「医療機関、区役所（保健福祉センター）等」「相談できる人や場所がない」の割合が高くなっています。



【問 28 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋）】

内容
・自分の力で。 ・インターネット。

問 28 で選択肢「１～４」を選ばれた方にお聞きします。

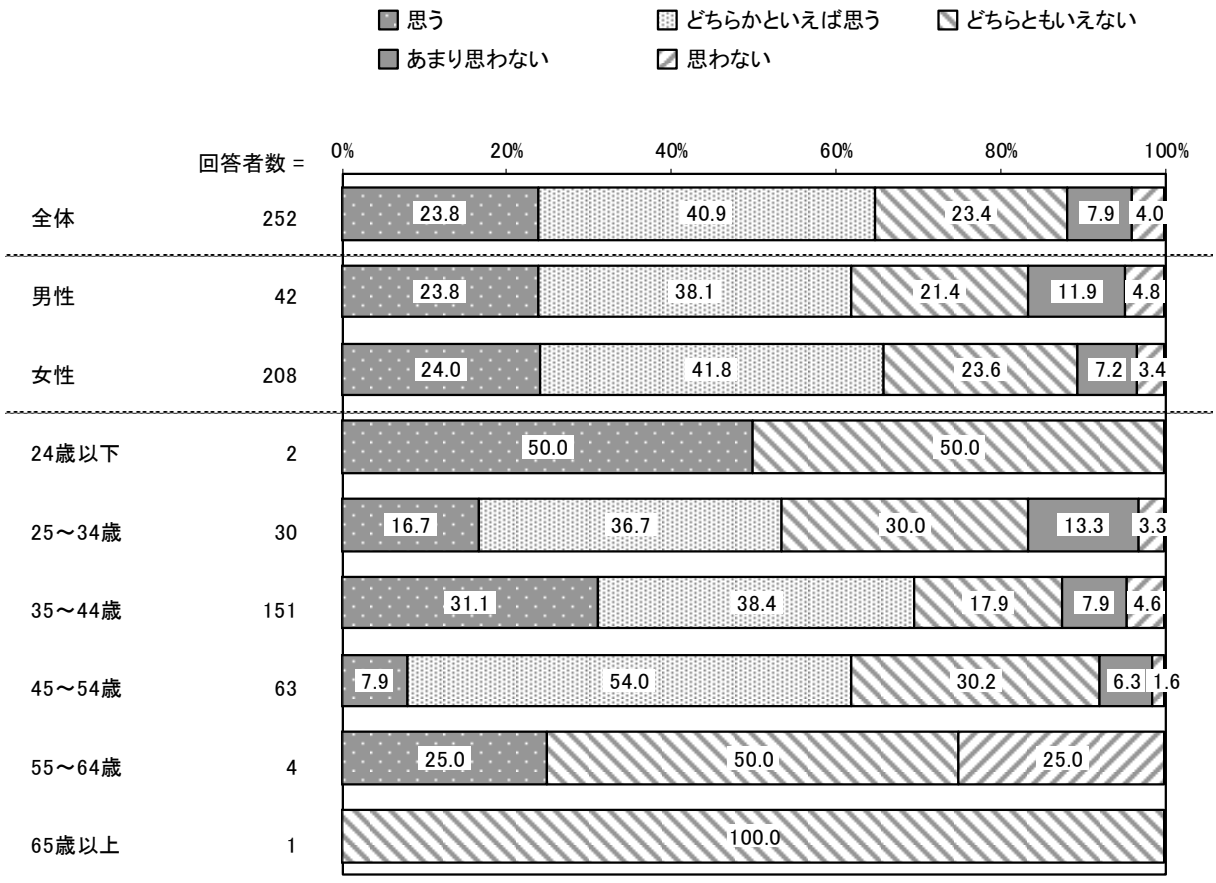
問 29　子育てについて相談したら、不安は解消（軽減）されたと思いますか。（１つだけ）

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた“思う”の割合が 64.7%、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が 11.9%となっています。

性別でみると、男性に比べ、女性で“思う”の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で“思わない”の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、35～44 歳で“思う”の割合が、25～34 歳で“思わない”の割合が高くなっています。

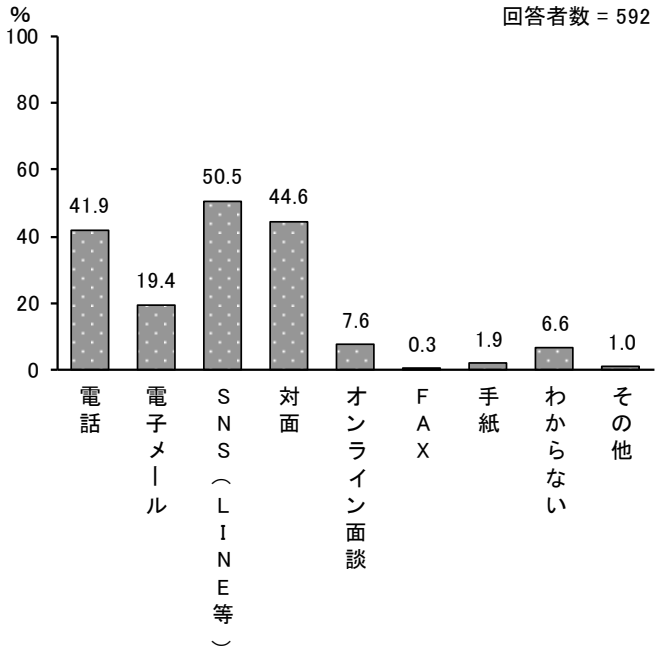
項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	252	100%	42	100%	208	100%
思う	60	23.8%	10	23.8%	50	24%
どちらかといえば思う	103	40.9%	16	38.1%	87	41.8%
どちらともいえない	59	23.4%	9	21.4%	49	23.6%
あまり思わない	20	7.9%	5	11.9%	15	7.2%
思わない	10	4%	2	4.8%	7	3.4%



問 30　子育てについて悩みを感じた時に、気軽に相談しやすい方法はどれですか。（〇はいくつでも）

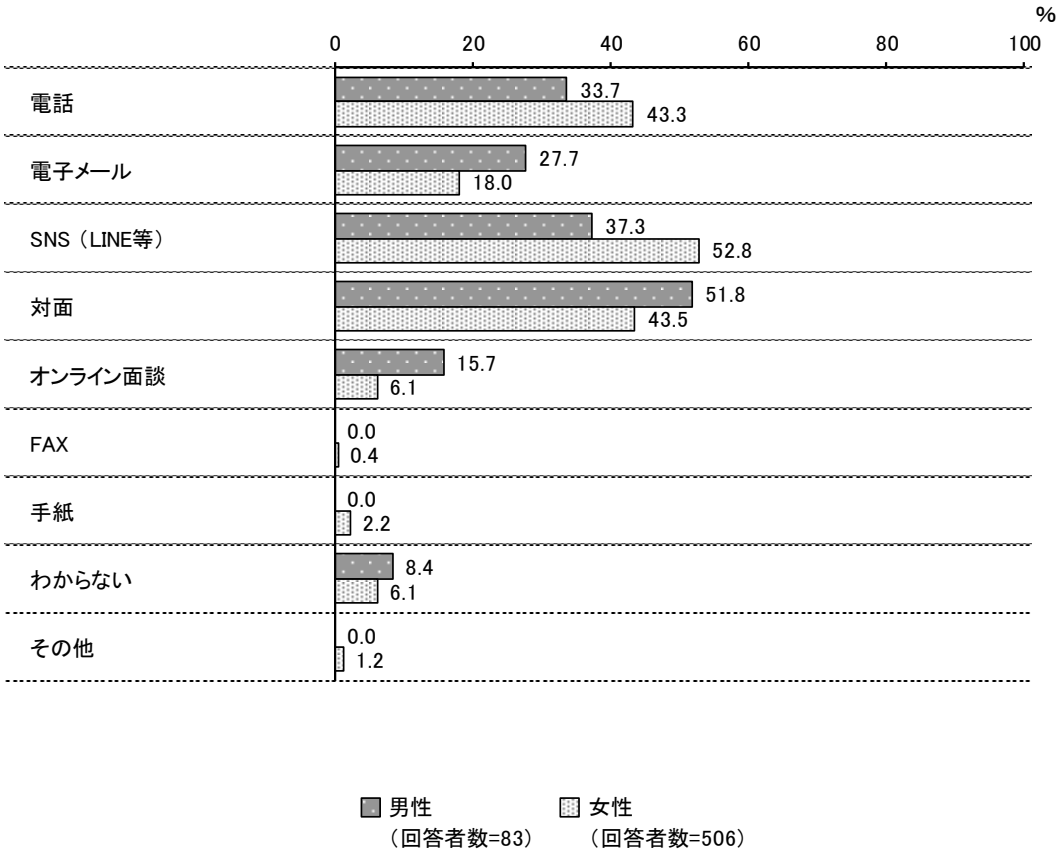
「SNS　(LINE 等)」の割合が 50.5%と最も高く、次いで「対面」の割合が 44.6%、「電話」の割合が 41.9%となっています。

項目	全体		性別			
			男性		女性	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
全　体	592	100%	83	100%	506	100%
電話	248	41.9%	28	33.7%	219	43.3%
電子メール	115	19.4%	23	27.7%	91	18%
SNS（LINE 等）	299	50.5%	31	37.3%	267	52.8%
対面	264	44.6%	43	51.8%	220	43.5%
オンライン面談	45	7.6%	13	15.7%	31	6.1%
FAX	2	0.3%	−	−%	2	0.4%
手紙	11	1.9%	−	−%	11	2.2%
わからない	39	6.6%	7	8.4%	31	6.1%
その他	6	1%	−	−%	6	1.2%



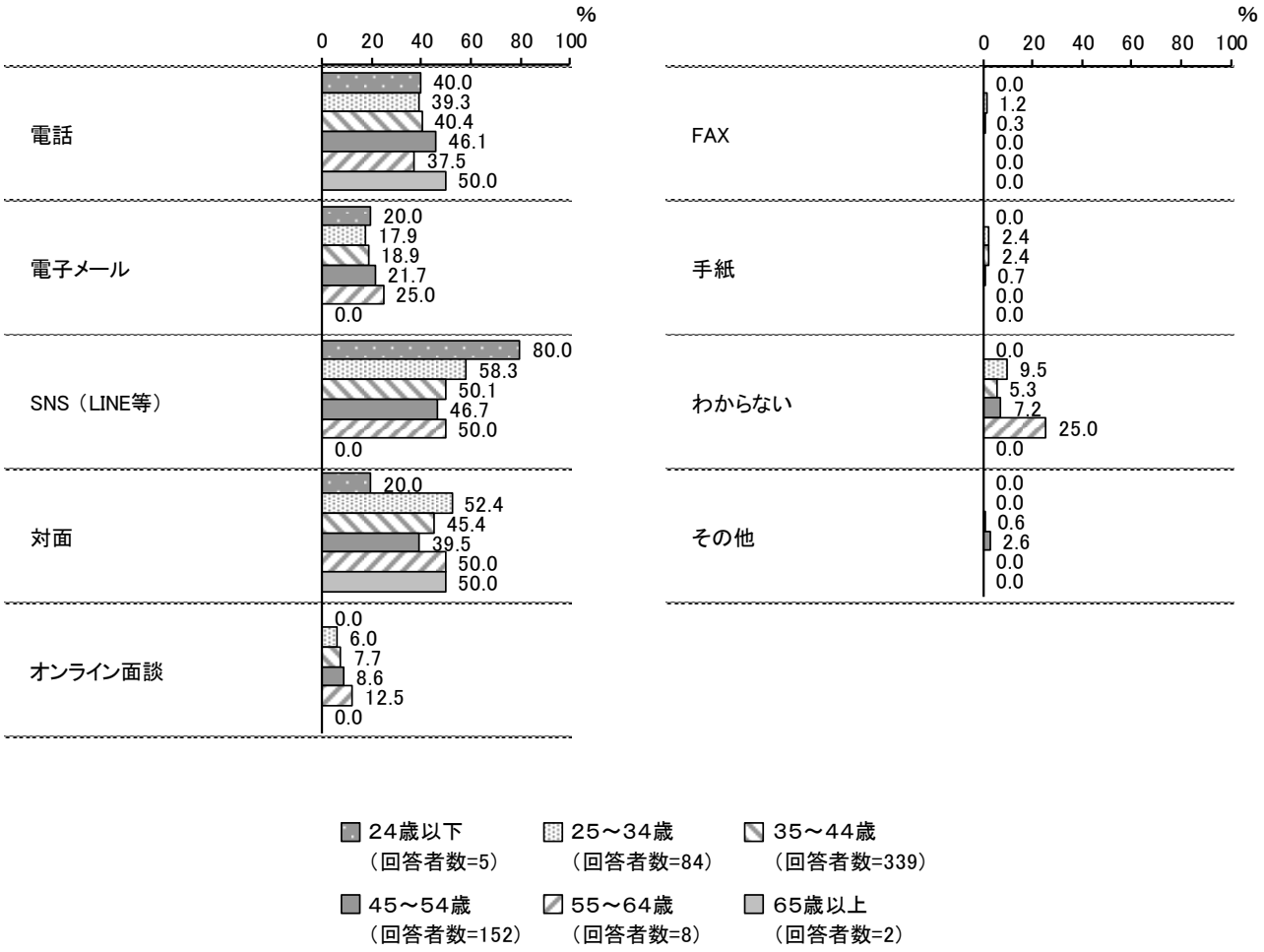
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「電話」「SNS（LINE 等)」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「電子メール」「対面」「オンライン面談」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、45～54 歳で「電話」「電子メール」の割合が、25～34 歳で「SNS(LINE 等)」「対面」の割合が高くなっています。



【問 30 の選択肢を選ばれた、その他の理由（一部抜粋】

内容
・内容によってはどれもしづらい。 ・オンライン面談はしたくない。(気持ちが読みとりにくい、伝わりにくいので。)